

平成30年度 事業報告書

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

平成 30 年度 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会 事業報告

本会では、長泉町地域福祉活動計画及び平成 30 年度の事業計画に基づき、「ささえあう みんなが笑顔になれるまち」の実現に向けて、行政、民生委員・児童委員協議会、区長連絡協議会、福祉施設、福祉団体並びに関係機関との連携を図りながら、町民の皆様と協働して社会福祉事業を推進した。

なお、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの事業ごとの内容は、次葉より報告する。

平成 31 年 5 月 20 日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

会長 永井 寛

平成 30 年度 事業報告書 目次

	ページ
I 社会福祉事業	
1 法人本部拠点区分	
1－1 法人運営事業	1
1－2 地域福祉活動事業	12
1－3 福祉総合相談事業	29
1－4 共同募金配分金事業	35
1－5 手話通訳者派遣事業	37
1－6 心身障害児放課後対策事業	39
1－7 小口資金貸付事業	41
1－8 生活支援体制整備事業	42
1－9 認知症初期集中支援チーム事業	49
2 老人福祉センター拠点区分	
2－1 福祉会館事業	51
3 介護サービス事業拠点区分	
3－1 居宅介護支援事業	62
3－2 指定通所介護事業	64
3－3 指定認知症対応型通所介護事業	67
3－4 指定訪問介護事業	69
3－5 障害福祉サービス居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業	71
3－6 移動支援事業	72
3－7 地域活動支援センター事業	73
II 公益事業	
1 在宅福祉総合センター事業	75
2 在宅福祉総合センター食堂事業	81

I 社会福祉事業

1 法人本部

1-1 法人運営事業

1 会員の拡充と基本財源の確保

本会の支援基盤及び財政的基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

(1) 会員募集結果（平成31年3月31日現在）

平成30年度	会員数	会費収入
普通会員	11,995口	3,598,500円
特別会員	264口	264,000円
合計	12,259口	3,862,500円
前年比	305口	102,000円

(2) 会員数の推移

年 度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
普通会員	11,725	11,861	11,826
特別会員	229	239	243
合 計	11,954	12,100	12,069
会費収入	3,760,500円	3,797,300円	3,790,800円

【事業進捗】

町内自治会のご協力をいただき、普通会員は前年度比270口の増加となっているほか、特別会員も35口の増加となっている。

2 定款・規程等の整備

① 経理規程

ア 新会計基準に基づき、別表勘定科目等の改正等を行うために経理規程の一部を改正した。

イ 本会の実施する法人後見事業と長泉町からの委託に基づく市民後見人養成事業の経理のため、新たなサービス区分を設けた。

② 役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程

モデル規程において必要事項を追加した。

③ 専決規程の制定

社会福祉法に定める理事会の権限に属する職務を理事に委任することについて、従前の事務権限規程を廃止し、新たに専決規程として定めた。

3 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

- ① 第1回理事会 出席者 理事11名／定数11名 監事2名／3名
ア 期 日 5月28日（月）
イ 議 題 報第1号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について
同意第1号 平成29年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会
事業報告の認定について
同意第2号 平成29年度社会福祉法人長泉町社会福祉協会
会計決算の認定について
同意第3号 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会社会福祉充
実計画の作成について
同意第4号 平成30年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会
会計補正予算（第1回）の認定について
同意第5号 平成30年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会
予算の執行及び契約の締結について
同意第6号 平成30年度定時評議員会の開催について
- ② 第2回理事会 出席者 理事11名／定数11名 監事3名／3名
ア 期 日 11月19日（月）
イ 議 題 報第2号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について
報第3号 平成30年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会
中間事業報告並びに中間決算について
報第4号 静岡県指導監査結果について
同意第7号 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の
一部改正について
同意第8号 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員等の報
酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正につ
いて
同意第9号 平成30年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議
会会計補正予算（第2回）の認定について
同意第10号 平成30年度臨時評議員会（第1回）の開催に
ついて
- ③ 第3回理事会 出席者 理事11名／定数11名 監事3名／3名
ア 期 日 3月18日（月）
イ 議 題 報第5号 介護保険事業に関わる実地指導の結果及び報告

同意第11号 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会専決規程の制定
同意第12号 平成30年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算（第3回）
同意第13号 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正
同意第14号 平成31年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業計画
同意第15号 平成31年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算
同意第16号 平成31年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算の執行及び契約の締結
同意第17号 平成30年度臨時評議員会（第2回）の開催

(2) 評議員会

- ① 定時評議員会 出席者 評議員12名／定数15名 理事2名
ア 期 日 6月14日（木）
イ 議 題 議第1号 平成29年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業報告の承認について
議第2号 平成29年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計決算の承認について
議第3号 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会社会福祉充実計画の承認について
議第4号 平成30年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算（第1回）の承認について
- ② 第1回臨時評議員会 出席者 評議員12名／定数15名 理事2名
ア 期 日 11月27日（火）
イ 議 題 報第1号 平成30年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会中間事業報告並びに中間決算について
報第2号 静岡県指導監査結果について
報第3号 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正について
報第4号 介護保険事業に関する実地指導の結果及び報告
議第6号 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について
議第7号 平成30年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算（第2回）の認定について
- ③ 第2回臨時評議員会 出席者 評議員12名／定数15名 理事2名

ア 期 日 3月27日（水）
イ 議 題 報第5号 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会専決規程の制定
報第6号 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正
議第8号 平成30年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算（第3回）
議第9号 平成31年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業計画
議第10号 平成31年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算

4 監査及び行政機関調査の実施状況

- (1) 静岡県社会福祉法人指導監査
ア 期 日 8月21日（火）
イ 出席者 県職員2名、会長、事務局長、職員3名
ウ 文書指摘事項 3事項
- (2) 監事監査
① 平成29年度決算監査
ア 期 日 5月18日（金）
イ 出席者 監事3名、会長、事務局長、職員10名
② 平成30年度中間監査
ア 期 日 11月14日（水）
イ 出席者 監事3名、会長、事務局長、職員11名

5 役員研修の実施状況

- ① 監事研修
ア 期 日 4月20日（金）市町社会福祉協議会監事研修会
イ 参加者 監事1名
- ② 理事研修
ア 期 日 2月12日（火）県内市町社協トップセミナー
イ 参加者 会長、副会長2名、事務局長

6 苦情解決窓口設置事業

本会が実施している福祉サービスに対する利用者の苦情や意見を幅広く汲み上げ、サービスの改善を図る観点から苦情解決窓口を設置し、次の体制で対応を図った。

(1) 組織体制

苦情解決責任者	渡邊 知明
苦情受付担当者	前田宏介、松田正子
第三者委員	須田滋郎、大嶋優子

(第三者委員任期：平成 29 年 4 月 26 日から平成 31 年 4 月 25 日)

(2) 苦情・要望解決の状況

施設名	内 容											計
	ケア関係		嗜好・選択等		財産管理等		制度・施策等		その他			
	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	
福祉会館	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1
いづみの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
わかあゆ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1

(3) 福祉サービスに関する苦情解決取扱状況について

No	区 分	内 容
1	日付	5月15日
	内容	浴室内での他人からの注意に対する苦情（匿名）
	対応	苦情の要因を検証した結果、入浴マナーに関する利用者間の意識差も一因と考えられるため、利用者相互がマナーを理解し気持ちよく利用いただくため。浴室内において留意いただく事項の掲示の見直しを行った。
2	日付	5月15日
	内容	仲良会不参加時の浴室利用券の発行に対する要望
	対応	本要望に関わる仲良会の事業趣旨と要望への対応について、要望者及び仲介者である民生委員双方に対し文書にて回答を行い、理解を求めた。

【事業進捗】

当期中の苦情、要望は合計 2 件であった。今回発生した苦情、要望は運営側の情報提供不足によることも一因としてあるため、福祉サービスに関するきめ細やかな情報発信に努めた。

7 事務局体制の整備と職員の資質向上

職員の退職に伴う補充を行い、適正な職員配置による安定した組織運営に努めたほか、職員の資質向上のための研修への参加をはじめ、業務に必要な資格の取得について啓発、奨励した。

(1) 職員数の状況

(単位：人)

基 準 日		正 規	嘱 託	パ ー ト	登 録	合 計
平成 30 年 4 月 1 日		1 9	8	2 0	1 0	5 7
平成 30 年度中 における増減	増			4		4
	減		2	1	1	4
平成 31 年 3 月 31 日		1 9	6	2 3	9	5 7
平成 31 年 4 月 1 日		1 9	8	1 9	9	5 5

(2) 研修参加状況 (別表による)

(3) 労働安全衛生

①職員健康診断の実施

ア 期 日 8月1・2日

イ 受診者 51名 (対象者全員)

②職員ストレスチェック

ア 期 日 8月1・2日

イ 受験者 36名 (対象者全員)

③職員メンタルヘルス講習会

ア 期 日 9月26日 (水)

イ 出席者 27名

ウ 産業カウンセラーによる講習

【事業進捗】

職員の労働安全衛生対策として、定期健康診断及びストレスチェックを実施したほか、新たにメンタルヘルス講習会を開催し、職員の労働安全衛生の向上に努めた。

平成30年度 研修会等参加状況（法人運営事業他）

長泉町社会福祉協議会事務局

日 時	内 容	参加者
4月19日	シニアクラブ静岡県会長・事務担当者会議	事務局職員1名
4月25日	生活困窮者自立支援事業におけるブロック会議	事務局職員1名
5月2日	社会福祉法人ネットワーク化協働事業説明会	事務局職員1名
5月10日	福祉避難所ワークショップ	事務局職員1名
5月16日	平成30年度市町社会福祉協議会事務局長会議	事務局職員1名
5月17日	平成30年度生活福祉資金新任担当者研修会	事務局職員1名
5月29日	沼津地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	事務局職員1名
6月5日・6日	平成30年度認知症地域支援推進員研修	事務局職員1名
6月12日	自立支援協議会事業所部会	事務局職員1名
6月13日	平成30年度日常生活自立支援事業専門員研修（基礎）	事務局職員1名
6月13日	法人後見従事者養成研修（第1回）	事務局職員1名
6月18日	民生委員・児童委員活動に係る市町担当職員及び市町事務局会議	事務局職員1名
6月22日	静岡県ふじのくに型学びの心育成支援事業打ち合わせ	事務局職員1名
6月25日	被保護者に対する家計相談支援の実施に向けた調整会議	事務局職員2名
6月29日	成年後見制度市町長申立に係る実務研修	事務局職員1名
7月11日	法人後見従事者養成研修（第2回）	事務局職員1名
7月12日・13日	第55回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	事務局職員1名
7月17日	平成30年度市町社会福祉協議会会計実務研修会	事務局職員1名
7月18日	平成30年度静岡県生活困窮者自立支援事業相談業務従事者研修	事務局職員1名
7月25日	平成30年度市町社協地域福祉・相談担当者合同会議	事務局職員2名
7月31日	地域福祉教育推進ワークショップ	事務局職員2名
8月8日	法人後見従事者養成研修（第3回）	事務局職員1名
8月10日	平成30年度市町社会福祉協議会総務担当者会議	事務局職員2名
8月10日	平成30年度ひきこもりサポーター養成研修	事務局職員2名
8月16日・17日	平成30年度静岡D C A T登録員養成研修	事務局職員1名
8月22日	平成30年度共同募金勉強会	事務局職員2名

平成30年度 研修会等参加状況（法人運営事業他）

長泉町社会福祉協議会事務局

日 時	内 容	参加者
8月23日	平成30年度市町社協ボランティア・地域福祉教育担当者会議	事務局職員2名
8月27日	平成30年度市町社会福祉協議会日常生活自立支援事業担当者会議	事務局職員1名
8月28日	平成30年度東部ブロック社会福祉協議会連絡会	事務局職員1名
8月29日	成年後見実施機関広域設置研修	事務局職員1名
9月3日	平成30年度第1回市町社協経営基盤強化委員会	事務局職員1名
9月11日	成年後見制度利用促進協議会	事務局職員1名
9月12日	法人後見従事者養成研修（第4回）	事務局職員1名
9月14日	平成30年度市町社会福祉協議会会长会議	会長・事務局職員1名
9月28日	コミュニティワーク研修会～地域アセスメントIN吉川団地～	事務局職員2名
10月3日	平成30年度ボランティアコーディネーター養成研修	事務局職員1名
10月9日	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム全体会議	事務局職員1名
10月10日	成年後見広域設置研修	事務局職員1名
10月16日	平成30年度成年後見制度システム操作説明会	事務局職員1名
10月17日	5市3町災害ボランティア連絡会	事務局職員1名
10月25日	平成30年度静岡県健康福祉大会	会長・副会長1名 事務局職員1名
10月25日	高次脳機能障害支援従事者研修	事務局職員1名
10月28日	静岡DCAT福祉避難所運営訓練	事務局職員1名
10月29日	地域包括ケアシンポジウム「地域共生社会」への挑戦	事務局職員1名
10月29日	平成30年度静岡県生活困窮者自立支援事業相談業務従事者研修	事務局職員1名
11月5日	社会福祉法人・施設職員税務実務講座（消費税）	事務局職員1名
11月5・26・30日 12月7日	平成30年度静岡県放課後児童支援員認定資格研修	事務局職員2名
11月8日	平成30年度第2回東部ブロック市町社協連絡会	事務局職員3名
11月15日	県東部地域災害ボランティア連絡会	事務局職員1名
11月16日	年末調整説明会	事務局職員1名
12月7日	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアムブロック会議	事務局職員1名

平成30年度 研修会等参加状況（法人運営事業他）

長泉町社会福祉協議会事務局

日 時	内 容	参加者
12月10日	社会福祉法人・財務管理（経営分析）講座	事務局職員1名
12月12日	生活支援コーディネーターのための助け合い活動見学ツアー	事務局職員1名
12月13日	「西日本豪雨災害のボランティア活動から学ぶ～行政とボランティア連携を考える～」研修会	事務局職員1名
12月21日	H30年度成年後見地域連携ネットワーク構築及び中核機関設置に向けた市町・市町社協連絡会議	事務局職員1名
1月18日	移動支援制度説明会	事務局職員1名
1月23日	成年後見実施期間広域設置研修	事務局職員1名
1月31日	社会福祉法人 消費税増税対応講座	事務局長 事務局職員1名
2月1日	平成30年度認知症総合支援事業連絡会	事務局職員2名
2月6日	平成30年度日常生活自立支援事業現任生活支援員研修会	事務局職員1名
2月10日	H30年度静岡県キャラバンメイト養成研修	事務局職員1名
2月11日	第41回静岡県ボランティア研究集会	事務局職員1名
2月12日	平成30年度市町社会福祉協議会トップセミナー	会長・副会長2名 事務局長
2月12日	福祉職員のための成年後見制度理解促進研修	事務局職員1名
2月13日	平成30年度市町社会福祉協議会決算実務研修会	事務局職員1名
2月14日	子ども支援セミナー	事務局職員1名
2月16日・17日	平成30年度認知症初期集中支援チーム員研修	事務局職員2名
2月27日	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム運営委員会	事務局職員1名
3月1日	働き方改革セミナー	事務局職員1名
3月4日	静岡県指導監査監督職員研修	事務局職員1名
3月5日	平成30年度社会福祉協議会介護保険部会	事務局職員1名
3月7日	平成30年度静岡県生活困窮者自立支援事業相談業務従事者研修	事務局職員1名
3月19日	平成30年度成年後見制度利用促進セミナー	事務局職員1名
3月19日	駿東田方郡圏域認知症初期集中支援チーム事例検討会	事務局職員1名
3月27日	平成30年度共同募金助成金交付説明会、市町共同募金委員会担当者打合会	事務局職員1名

平成30年度 研修会等参加状況

在宅福祉総合センターいづみの郷

日 時	内 容	参 加 者
4月10日	長泉町障がい者自立支援協議会	居宅介護・重度訪問・同行援護1名
5月23・24日	市町社会福祉協議会新任職員研修	一般型通所介護2名 訪問介護1名
6月5日	認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー	認知症対応型通所介護1名
6月12日	長泉町障がい者自立支援協議会	居宅介護・重度訪問・同行援護1名
6月15日	静岡県ホームヘルパー連絡協議会総会及び全休研修会	訪 問 介 護 1 名
6月16日	精神疾患の特性と対応方法	居宅介護・重度訪問・同行援護1名
6月20日	衛生・栄養管理講習会	食 堂 1 名
6月27日	長泉町在宅医療・介護連携推進会議	訪 問 介 護 1 名
6月29日	同行援護従事者養成研修	居宅介護・重度訪問・同行援護1名
7月4日	同行援護従事者養成研修	居宅介護・重度訪問・同行援護1名
7月6日	長泉町障がい者自立支援協議会	居宅介護・重度訪問・同行援護1名
7月13日	同行援護従事者養成研修	居宅介護・重度訪問・同行援護1名
7月24日	静岡県ホームヘルパー連絡協議会地区研修会	訪 問 介 護 1 名
8月6日	職場研修のつくり方講座	一般型通所介護1名
8月8日	福祉サービス苦情解決研修会	セ ン タ ー 1 名
8月8日	相談員のための支援力アップ講座	一般型通所介護1名
8月24日	同行援護従事者養成研修	居宅介護・重度訪問・同行援護1名
9月5日	平成30年度介護保険サービス提供事業者説明会	居宅介護支援1名 一般型通所介護1名 訪 問 介 護 1 名
9月25日	認知症のB P S Dを考えるセミナー	認知症対応型通所介護1名
9月27日	小地域レクリエーション研修会	一般型通所介護1名 認知症対応型通所介護1名
10月9日	長泉町障がい者自立支援協議会	居宅介護・重度訪問・同行援護1名
10月10日	スーパースチーム調理講習会	食 堂 1 名
10月15日	会議を良くするファシリテーション講座	居宅介護支援1名
10月15日	会計実務（減価償却と修繕）専門講座	セ ン タ ー 1 名
10月25日	高次脳機能障害支援従事者基礎研修会	居宅介護・重度訪問・同行援護2名

平成30年度 研修会等参加状況

在宅福祉総合センターいづみの郷

日 時	内 容	参 加 者
11月5日	社会福祉法人・施設職員税務（消費税）実務講座	セ ン タ 一 1 名
11月14日	静岡県ホームヘルパー連絡協議会サービス提供責任者研修会	訪 問 介 護 1 名
11月27日	平成30年度静岡県介護支援専門員実務者研修実習受入事業所管理者・指導者説明会	居 宅 介 護 支 援 2 名
11月27日	小地域レクリエーション研修会	一 般 型 通 所 介 護 1 名 認 知 症 対 応 型 通 所 介 護 1 名
12月6日	静岡県給食協会沼津伊豆支部研修会	食 堂 1 名
12月7日	障害児・者福祉サービス事業者説明会	居宅介護・重度訪問・同行援護1名
12月10日	社会福祉法人財務管理（経営分析）講座	セ ン タ 一 1 名
1月9日	静岡県ホームヘルパー連絡協議会サービス提供責任者研修会	訪 問 介 護 1 名
1月22日	高齢者の転倒予防講座	一 般 型 通 所 介 護 1 名
1月31日	難病患者在宅療養支援者研修会	居宅介護・重度訪問・同行援護1名
1月31日	地域で役立つファシリテーション講座	一 般 型 通 所 介 護 1 名

1-2 地域福祉活動事業

1 地域福祉活動計画における4つの施策の方向の推進と調査研究事業

(1) 施策の方向1 「誰もが安心して生活できる地域での居場所づくり」

(1)-1 高齢者の活躍の場の提供

高齢者が家に引きこもらず、地域で様々な人と交流することで生きがいや楽しみなどが生まれ、介護予防や認知症予防に繋がっていきます。このことから、地域で様々な活動が出来る場づくり、参加できる環境づくり、地域福祉活動の担い手として活躍できる場の一つとして、食を通じた男性同士の交流やボランティア活動のきっかけづくりとして、男の料理教室を開催した。

①「男の料理教室」～魚のさばきに挑戦～

- ・期日 7月22日（日）
- ・対象 町内在住、在勤の男性
- ・参加者 16名
- ・講師 滝野 泉氏（マックスバリュ東海）
- ・内容 鮭のさばきの実技、ぶりの刺身切の実演、食の講話をを行いながら参加者の交流を図り、また、地域でのサロン活動やボランティア活動参加への協力を促した。



「男の料理教室」

【事業進捗】

今回、企業の社会貢献として、マックスバリュ東海と連携し、講師の派遣を依頼し、企業との繋がりを強化。また、男性ボランティアとして6名登録いただけた。現在、2名の方に社協事業のボランティア活動に参加いただいた。今後も、さらに活動の場を増やしていく。

(1)-2 みんなで悩みを話し合える機会づくり

小地域福祉活動におけるサロン活動などを行うことで参加者同士の交流が深まり、継続することでお互いに理解しあえる間柄になり信頼関係が生まれる。このような場づくりや運営の支援を行った。

① 小地域福祉活動推進事業

地域の福祉課題の解決は地域の人たちが中心になって行うこと目標に、区長を通じて区単位にサロン活動の普及を推進した。また、活動の担い手であるボランティアの養成を図り住民主体によるきめの細かい福祉活動の推進ができるよう支援を行った。

ア 平成30年度活動区 29区

イ 活動費の助成

- ・年額50,000円／区

ウ 連絡会の開催

- ・開催日 4月27日（金）

- ・参加者 50名

- ・内容 助成金交付手続き、情報交換、各種講座案内（健康と



「小地域福祉活動 連絡会」

栄養講座、サロンで楽しむ簡単ゲーム、スロートレーニング他)

② 第1回小地域福祉活動レクリエーション研修会

・開催日 9月27日(木)

・参加者 34名(16区)

第2回小地域福祉活動レクリエーション研修会

・開催日 11月22日(木)

・参加者 42名(11区)

・講 師 内藤ルミ子 氏(レクリエーションインストラクター)

・内 容 小地域福祉活動実践者を対象

にサロンで楽しむレクリエーション講座として「地域で出来る簡単レクリエーション」を開催し、意義と技術の研修を行った。

【事業進捗】

参加者・区数は徐々に増えてきており地域活動での需要が伺えた。さらに参加人数、区の増加を図りながら、人材の育成に努めていく。



「レクリエーション研修会」

③ サロン活動の支援

活動区からの依頼で、社協職員が地域の公民館に出向き介護予防、認知症予防、閉じこもりがちの解消、交流などを目的にレクリエーションや簡単体操などを行った。なお、スポーツ推進員にもレクリエーションなどの協力を仰いでいる。

<事例紹介>

① 原区小地域福祉活動

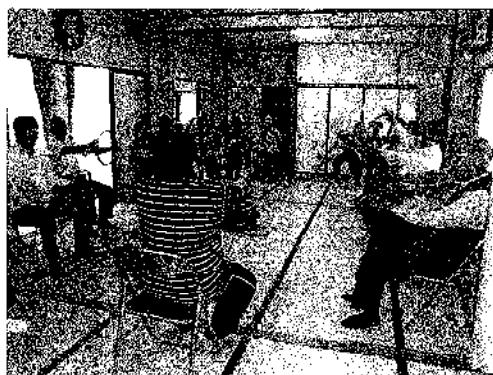
月1回、第4水曜日に区公民館でサロンを開催している。行事開催については、町スポーツ推進員と社協職員が支援を行った。

開催日	参加人数	内 容
4月25日(水)	10名	健康体操、踏まネットで足腰の強化他
5月23日(水)	13名	健康体操、脳トレ、レクリエーション他
6月27日(水)	14名	体操、脳トレ、軽筋トレ、下半身筋トレ
7月25日(水)	11名	健康体操、お手玉脳トレ、軽筋トレ他
8月29日(水)	11名	ストレッチ、風船ゲーム、脳トレ他
9月26日(水)	9名	ストレッチ、体操、クッションボール他
10月24日(水)	8名	健康体操、脳トレ、レクリエーション他
11月28日(水)	8名	健康体操、踏まネットで足腰の強化他
12月26日(水)	10名	体操、脳トレ、軽筋トレ、下半身筋トレ
1月30日(水)	18名	健康体操、お手玉脳トレ、軽筋トレ他

2月27日（水）	17名	ストレッチ、体操、クッションボール他
3月27日（水）	14名	体操、脳トレ、軽筋トレ、下半身筋トレ
合計	143名	



「原区スロートレーニング」



「谷津区スロートレーニング」

② 谷津区小地域福祉活動（スロートレーニング）

月1回、区公民館でサロンを開催している。行事開催については、町スポーツ推進員と社協職員が支援を行った。

開催日	参加人数	内 容
4月27日（金）	16名	小地域福祉活動について、健康体操他
5月28日（月）	17名	ストレッチ、体操、クッションボール他
8月27日（月）	20名	健康体操、脳トレ、踏まネット、筋トレ
10月29日（月）	16名	体操、脳トレ、軽筋トレ、下半身筋トレ
11月26日（月）	12名	健康体操、脳トレ、レクリエーション他
12月27日（木）	13名	体操、脳トレ、軽筋トレ、フリスビー
1月28日（月）	12名	健康体操、踏まネットで足腰の強化他
2月18日（月）	14名	ストレッチ、体操、クッションボール他
3月18日（月）	13名	健康体操、脳トレ、踏まネット、筋トレ
合計	133名	

③ 元長窪区小地域福祉活動（スロートレーニング）

月1回、第3水曜日に区公民館でサロンを開催している。行事開催については、町スポーツ推進員と社協職員が支援を行った。

開催日	参加人数	内 容
4月18日（水）	14名	健康体操、お手玉脳トレ、軽筋トレ他
5月16日（水）	14名	ストレッチ、体操、レクリエーション他
6月20日（水）	13名	体操、脳トレ、軽筋トレ、下半身筋トレ
7月18日（水）	18名	健康体操、脳トレ、けん玉レク他
9月19日（水）	13名	健康栄養講座、筋トレ、けん玉脳トレ
11月21日（水）	10名	ストレッチ、体操、クッションボール他
合計	82名	



「元長窪区スロートレーニング」



「南一色区スロートレーニング」

④ 南一色区小地域福祉活動（スロートレーニング）

月1回、第1木曜日に区公民館でサロンを開催している。行事開催について、町スポーツ推進員と社協職員が支援を行った。

開催日	参加人数	内 容
4月5日（木）	20名	健康体操、脳トレ、レクリエーション他
5月10日（木）	20名	ハワイアンダンス、体操、脳トレ他
6月7日（木）	21名	体操、脳トレ、軽筋トレ、下半身筋トレ
7月5日（木）	21名	ストレッチ、体操、レクリエーション他
9月6日（木）	19名	健康体操、脳トレ、レクリエーション他
10月4日（木）	22名	健康体操、踏まネットで足腰の強化他
11月1日（木）	22名	ストレッチ、体操、クッションボール他
12月6日（木）	20名	体操、脳トレ、軽筋トレ、下半身筋トレ
1月10日（木）	21名	健康体操、脳トレ、踏まネット、筋トレ
3月14日（木）	21名	ストレッチ、体操、じゃんけんゲーム他
合計	207名	

⑤ 高田区小地域福祉活動

スロートレーニングは1回だが、来年から月1回にするのか検討することとなった。

開催日	参加人数	内 容
7月11日（水）	11名	体操、脳トレ、軽筋トレ、下半身筋トレ



「高田区健康栄養講座」



「三軒家区スロートレーニング」

⑥ 三軒家区小地域福祉活動（スロートレーニング）

月1回、区公民館でサロンを開催している。行事開催については、町スポーツ推進員と社協職員が支援を行った。

開催日	参加人数	内 容
4月11日（水）	9名	健康体操、脳トレ、レクリエーション他
5月9日（水）	11名	ストレッチ、体操、レクリエーション他
7月11日（水）	9名	体操、脳トレ、軽筋トレ、下半身筋トレ
9月12日（水）	11名	健康体操、脳トレ、踏まネット、筋トレ
10月18日（木）	8名	ストレッチ、体操、クッショングボール他
12月20日（木）	8名	体操、脳トレ、軽筋トレ、フリスビー
1月16日（水）	9名	健康体操、踏まネットで足腰の強化他
2月20日（水）	12名	ストレッチ、体操、じゃんけんゲーム他
3月13日（水）	13名	ストレッチ、体操、レクリエーション他
合計	90名	

⑦ 杉原区小地域福祉活動

今回から初めてスロートレーニングを開催。毎月第4金曜日で調整し、シニアクラブ会長と、民生委員が中心となり始めた。

開催日	参加人数	内 容
3月1日（金）	21名	健康体操、脳トレ、レクリエーション他

【事業進捗】

各区がそれぞれに応じて工夫しながら行っており、全体的に参加人数が増えているのが伺える。活動区が全地区ではないが、引き続き活動支援を行なながら各区に関わりを深めていき、福祉ニーズの発掘の場を増やしていく。

(1) - 3 気軽に利用できる地域の子育て支援組織の拡充

未就園児の子どもや、保護者がふれあう場づくりを、小地域福祉活動の一環として活動を支援、また、運営協力者の発掘や人材育成に取り組む。

① 三軒家区＆エンゼル西区（4年目）

各区の関係者等と小地域福祉活動が連携し、三軒家区公民館を使用し三軒家区・エンゼル西区内の親子に遊び場を提供した。旧民生委員を中心に区長、民生委員、ボランティアが運営し、身近な地域で気軽に行える子育て支援の一つとして事業を行った。

	子ども	大人	計
5月30日(水)	3	8	11
6月27日(水)	2	7	9
7月26日(木)	8	8	16
8月29日(水)	4	5	9
9月27日(木)	2	6	8
10月24日(水)	1	8	9
1月24日(木)	4	8	12
合計	24	50	74



三軒家&エンゼル西区子育てサロン
(スイカ割り)

【事業進捗】

参加人数は少数だが、この事業が地域に馴染みつつある。兄弟で参加する場面もあり、こども同士や親同士のつながり、ボランティアや運営者側とのつながりが垣間見られるようになった。引き続き支援を行っていく。

(2) 施策の方向2 「地域福祉を担う人づくり」

(2)-1 福祉の心を育む力

日頃からの地域でのあいさつや声かけ、顔の見える関係となるよう心がける地域づくりと、子供の頃から、高齢者や障がいのある人とふれあいを通じて、福祉の心を醸成・育成するとともに、様々なボランティア団体への支援、研修会や体験講座などを開催し、福祉の担い手の育成を図る。

① 福祉教育実践校事業

児童及び生徒の社会福祉への理解と関心を高め、地域社会を巻き込んだ福祉を進めるため、福祉教育実践校活動を支援した。

指定校	実施期間
長泉小学校	通算24年目
南小学校	通算25年目
北小学校	通算24年目
長泉中学校	通算25年目
北中学校	通算24年目
知徳高等学校	通算23年目

ア 活動費の助成 1校あたり年額100,000円

高齢者、妊婦疑似体験セット、車いすスロープ、福祉講演会講師料、点字ブロックセット、白杖、タイムタイマー、福祉施設視察研修費他

イ 担当者打合せ会

福祉教育の円滑な推進を図るために関係者の打合せ会を開催した。

- ・開催日 4月25日(水)

- ・会場 福祉会館

- ・参加者 10名(学校関係6名、福祉施設関係4名)

② 夏休み中学生福祉体験学習

町内の中学生を対象に福祉施設等で2～3日間の体験をすることにより福祉に対する理解を深めるとともに社会性を培うことを目的に実施した。

ア 実施期間 7月25日～8月25日のうち施設の指定する2～3日

イ 参加合計 33名

ウ 協力施設 児童関係 中央保育園、竹原保育園、あそか保育園
このはな保育園

介護関係 いづみの郷、モク・オハナ、さつき園、
博寿園、

障がい関係 悠雲寮、ほほえみ＆みのり工房、わかあゆ

工 内 容

町内中学生を対象に、施設従事者や利用者と接し、生きることの尊さやボランティア、福祉に対する理解を深めるため、保育園では保育士の手伝い・園児の世話・園舎内外の清掃高齢者福祉施設では、話し相手・配膳・レクリエーションの参加、障がい者福祉施設では、利用者支援を行った。

【事業進捗】

学校側との連携により、参加生徒は増加傾向である。将来の仕事の選択の一つとして考えている生徒が多く、この事業の成果として期待がもてる。

保育園での活動希望者が多いため、高齢者・障がい者関係施設への参加を促している。引き続き、中学校、各施設と連携していく。

(2)-2 福祉を担う人づくり

① ボランティア団体支援

ボランティア活動を円滑に進めるため、活動の拠点となる福祉団体室、ボランティアルームを貸し出した。

なお、ボランティア団体の把握をし、連絡調整を総合的に行った。

※長泉町ボランティア連絡会加入団体

・団体数 33団体（前年30団体）

・会員数 789名（前年比59名増）

② ボランティア情報提供事業

ボランティア活動への参加促進を図るため、広報啓発活動を行った。

ア 『福祉ながいづみ』…<ボランティア情報>

イ ホームページ…ボランティア情報（ボランティアとは・団体紹介）

ウ ボランティア情報館内掲示板…福祉会館いづみの郷連絡通路設置

③ ボランティア活動支援事業

ア ボランティア保険への加入

社協を拠点として活動していない個人や団体からの保険の相談に応じ、全社協のボランティア保険へ加入事務の手続きを行った。

イ 社協バスの運行による活動支援

ボランティア実践者に対し、ボランティア活動時の送迎や視察研修時の交通手段として社協バスを運行し活動を支援した。

ウ 福祉会館会議室等の使用料減免

登録ボランティア団体に対し福祉会館会議室等の使用料減免をした。

エ 収集品の受け入れ窓口及び送料の負担

使用済み切手、使い古しの木綿の布、牛乳パック、プルタブの収集を行った。収集品はボランティアにより整理され、関係機関へ届けられた。また、収集品を関係機関に郵送する際、必要な送料を負担した。

オ 給食ボランティア衛生管理

給食ボランティアを対象に検便を行い、食中毒の防止と健康状態の把握を行った。

④ ボランティア相談事業

ボランティア入門、活動上の相談、支援の依頼等7件の相談及び需要調整を行った。

⑤ 関係機関・団体との連携

ア 長泉町ボランティア連絡会支援事業

町内のボランティアグループが協働して、ボランティア活動の振興を図ることを目的に設立した長泉町ボランティア連絡会への支援を行った。

- ・事業等の運営に対する支援（正副会長会、理事会の開催等）
- ・事業運営費の補助（20万円）

イ 社会福祉関係事業所との連携と情報の共有体制の確立

より効果的な地域福祉活動を進めるために、社会福祉関係の事業者との連絡調整に努めた。

- ・ボランティアの斡旋、調整
- ・傾聴ボランティア活動の調整（町内高齢者福祉施設等）
- ・町内小、中、高等学校、町内各施設との情報交換

⑥ 【外出支援サポーター養成講座】

開催日：11月17日（土）

場 所：いずみの郷

参加者：11名（内中学生4名、大学生1名）

講 師：《講義》杉山高司 氏（町身体障害者福祉会 会長）

奥村亮子 氏（町手をつなぐ育成会 会長）

大川みゆき 氏（町身体障害者福祉会ろうあ部 部長）

《実技》いずみの郷訪問介護事業所 職員2名

内 容：身体・視覚・知的障がい者団体の活

動内容、また、視覚障がいの方から普段の暮らしの状況などを聞き、さらには、実技体験を通じて障がい者への理解をより深めることで、地域での障がい者支援へと繋がるよう行った。

「外出支援サポーター養成講座」



【事業進捗】

社協訪問介護員の協力は、地域福祉を推進していく上での社協の強みを感じている。今回、サポーターに2名の登録があり、今後、各障がい者団体の活動支援や、地域での支援につなげていく。

⑦【ファシリテーション講座】

開催日：1月31日（木）

場 所：いずみの郷

参加者：26名

講 師：NPO法人 日本ファシリテーション協会 フェロー

鈴木まり子 氏

内 容：小地域福祉活動実践や各種福祉団体等を対象に、地域活動での話し合いを始める前に、準備すること、効果的な話し合いの進め方を学ぶことでより良い地域福祉活動、助け合い・支え合い活動に繋がるよう行った。



「ファシリテーション講座」

【事業進捗】

小地域福祉活動実践者等に学んでいただいたことで、各地域でより良い活動に繋がるよう支援していく。

⑧【傾聴ボランティア養成講座】

開催日：2月 9日（土）

16日（土）

場 所：いずみの郷

講 師：鈴木絹英氏・山田豊吉氏

(NPO法人日本傾聴ボランティア協会)

参加者 延べ31名

内 容 デイサービスやグループホーム利

用者、病院の患者、小地域サロン

やシニアクラブ友愛訪問活動の対象者など、人と関わることを求めている人のために、身近な話し相手として活動する「傾聴ボランティア」の養成を図る。今回は、5名の方の傾聴ボランティア「ふらっと」への加入の希望があった。



「傾聴ボランティア養成講座」

【事業進捗】

傾聴ボランティアの育成・増加を図るとともに、現在の活動場所の町内各高齢者福祉施設から、在宅、個人宅傾聴への展開を図っていく。

⑨【地域支え合いマップ作り入門講座】

開催日 3月2日（土）

場 所 いづみの郷

講 師 住民流福祉総合研究所

所長 木原孝久 氏

参加者 30名

内 容 多種多様な福祉課題、これらの課題を解決していくための手段

手段の一つとして、地図上に地域の実態や周りとの関わり合いなどを落としこみ、明確化・共有化を図ることで、住民同士が福祉課題の解決に取り組めるシステム作りを学んだ。



「地域支え合いマップ作り入門講座」

【事業進捗】

講師のアンケート結果から、頼まれば人助けをしたい（95%）自分から「助けて」と言える人（3~5%）の結果。これらを基に、各地域と連携を図り、マップ作りを展開していく。

(2)-3 地域福祉活動への参加促進

① 福祉健康まつり開催事業

ア 福祉健康まつり開催事業

福祉・健康・介護に関する事業の啓発と福祉会館、健康づくりセンター、いづみの郷の施設の紹介を行い、関係団体の参加の輪を広げ、来場者との相互の交流を図ることにより、地域ぐるみの福祉意識の高揚、健康づくりの推進、介護保険制度の普及促進を図ることを目的として、福祉健康まつりを開催した。今年度は30回を記念した抽選会を実施した。

・開催日 10月21日（日） 8:30 オープニングセレモニーーくす玉割り（販売開始）～14:00（閉会）

・会場 福祉会館、ウェルピアながいづみ、在宅福祉総合センターいづみ郷及び周辺駐車場

・内容 福祉功労者表彰、各施設紹介、福祉関係団体による模擬店、作品展示、スタンプラリー、ステージ出演のほか、福祉会館浴室の無料開放、第30周年記念抽選会、おまつり臨時バスの運行。

・参加団体数 70団体

・来場者数 約2000名 他スタッフ約800名

(3) 施策の方向3 「いざというとき連携・協力できる地域づくり」

(3)-1

誰もがいつまでも安心して暮らしていくようにするために、地域とともに暮らす人たちの見守りや、支え合いの意識が重要で、また、災害対策や、防犯対策の充実、暮らしやすい安心、安全な地域づくりを展開する。

① 【避難所運営訓練（HUG体験）】

開催日 8月10日（金）

場 所 福祉社会館2階研修室

講 師 中村譲治 氏

（災害ボランティアネットワーク長泉）

参加者 21名

内 容 社会福祉協議会と災害ボランティアネットワーク長泉の共催で、会員、並びに災害関係団体を対象に避難所運営ゲーム（HUG）体験を行うことで、避難所運営のイメージを学び、地域防災力の向上を図る。



「避難所運営ゲーム（HUG）体験」

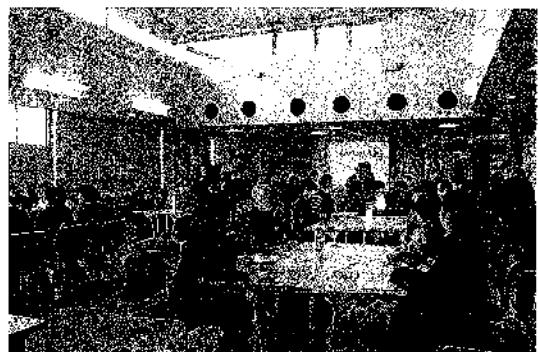
② 【災害ボランティアコーディネーター養成講座】

開催日 2月23日（土）

場 所 いづみの郷3階集会室

参加者 40名

内 容 今回初めて、町と社会福祉協議会が主催、災害ボランティアネットワーク長泉の共催で開催。併せて、県知事認証の「ふじのくに災害ボランティアコーディネーター養成講座」とし、修了者には県知事認定証を交付した。災害ボランティアネットワーク長泉に9名の方が加入した。



「災害ボランティアコーディネーター養成講座」

【事業進捗】

災害時等にも活動する団体に参加の呼びかけを行い、様々なケース内容等の情報を共有することができた。各種団体、並びに行政とさらなる連携を深めていき「自助」「共助」を強めていく。また、引き続き、災害ボランティアネットワーク長泉の会員の増強に努めるものとする。

(3)-2 総合的な総合相談体制の確立

① 福祉情報発信力の強化

社協広報紙『福祉ながいづみ』やホームページによる情報提供を行った。世帯の数増加により、発行部数を16,600部から300部に増刷した。

ア 社協広報誌『福祉ながいづみ』 発行部数 16,900部

平成30年5月1日号（No.233）～平成31年4月1日号（No.244）

【事業進捗】

町内世帯数の増加により発行部数も増加していることから、行政の広報に現状を適宜確認し、住民への情報提供や内容の充実に重点を置き、2019年5月1日号より「社協だより」に名称を変更し地域福祉情報の発信につとめていく。。内容についても活字や文字の大きさ、写真やネットでの情報など広く検討し地域住民に身近な地域福祉広報紙となるよう編集委員会をはじめ社

協広報誌の在り方について検討した。また、ホームページと連動し最新の情報を発信できるよう、URL、QRコードからホームページにすすめるようリニューアルに向けて準備を行った。

(4) 施策の方向 4 「住民・民間・社会福祉協議会・行政との協働」

① 民生委員・児童委員協議会活動との連携

地域福祉活動を推進するため、日頃から民生委員・児童委員との連携を図るとともに活動費の支援を行った。

- ・役員会 月1回 初旬
- ・定例会 月1回 中旬
- ・「地域ブロック会議」への参加
民生委員・児童委員活動を通じた地域の特色や課題を把握し、地域福祉活動の推進に活かすことを目的に地域ブロック会議に参加した。
- ・地域ブロック会議（8ブロック） 計31回参加
- ・地域ブロック長会議 計5回参加

② 行政との協働

認知症や 徘徊高齢者などの見守り支援体制のネットワーク化を図り、みんなで見守る、子どもやお年寄りにやさしい町とするため、関係各方面との情報連絡体制の強化に努めることを目的とする。

ア 「認知症を考える地域会議及び認知症初期集中支援チーム検討委員会」への参画

この会議は、認知症は早期発見、早期対応が重要であり、認知症という疾患を多くの方が正しく理解し、その家族等に適切な対応が提供されるシステムづくりを行政・個人・地域・関係機関・医療・ボランティア等が連携を図り、ネットワークを構築することを目的としており、社協職員が参画した。また第1回会議では平成30年度4月より開始した認知症初期集中支援チームの活動についてチーム員の報告をもとに意見交換を行った。

- ・期 日 5月23日（水）
- ・参加者 職員1名
認知症初期集中支援チーム チーム員1名
- ・内 容 平成30年度事業計画、認知症地域支援推進員及び徘徊高齢者等見守り事業について情報共有
認知症初期集中支援チームの活動について報告
- ・期 日 11月30日（金）
- ・参加者 職員1名
- ・内 容 長泉町の高齢者を取り巻く現状について、認知症地域支援推進員の活動について、認知症疾患センターの取組みについて、認知症初期集中支援チームの活動報告

イ 長泉わくわくまつりへの参加

町をあげてのまつりである「長泉わくわくまつり」に、各事業で関わる者の社会活動参加の機会および、社会福祉協議会のPRと職員の親睦の場として参加した。

- ・開催日 8月4日（土）
- ・参加者 26名（職員22名、事業利用者等4名）

(3) 在宅福祉サービスの推進

ア 一人暮らし高齢者食事会「仲良会」

町内在住の概ね65歳以上の方を対象に、外出する機会の提供、交流の場となるよう、給食ボランティア2団体（長泉ボランティア、民生委員・児童委員協議会）の協力のもと、食事会と30分程度の催し物を行った。

今後増加する一人暮らし高齢者を見込み、平成30年4月より従来の集会室に加え福祉会館大広間の2会場で開催した。今年度参加者は昨年度に比べ減少した。

○平成30年度平均参加者数：77.7人（平成29年度85.4人）

① 参加者数

日 程	北 部	南 部	申込数 合 計	北 部	南 部	参 加 数 合 計	出 演 者	給 食 ボ ラ	傾 聴 ボ ラ	職 員	合 計
4月19日	52	49	101	37	39	76	2	26	6	6	116
5月22日	54	48	102	42	44	86	10	13	4	6	119
6月22日	49	44	93	44	36	80	1	0	5	6	92
7月24日	50	40	90	42	35	77	5	25	1	6	114
9月21日	50	36	86	36	29	65	25	13	3	6	112
10月23日	49	42	91	37	40	77	5	0	4	6	92
11月21日	45	45	90	43	38	81	4	9	1	6	101
12月21日	48	42	90	43	41	84	1	0	3	6	94
1月22日	50	40	90	39	33	72	12	10	2	5	101
2月20日	44	37	81	37	37	74	14	25	0	4	117
3月20日	46	43	89	47	36	83	11	0	5	5	104
合 計	537	466	1,003	447	408	855	90	121	34	62	1,162

② 内 容

日 程	天 候	催 し 物	内 容
4月19日	晴れ	音楽演奏	アニログランデによるギターとオカリナ演奏
5月22日	晴れ	マンドリン演奏と合唱	金岡マンドリンクラブによる演奏と合唱
6月22日	晴れ	軽い運動	健康増進課による運動
7月24日	晴れ	折り紙教室	シニアクラブ女性部による折り紙教室（箱作り）

9月21日	雨	園児との交流会	中央保育園園児との交流
10月23日	晴れ	昭和歌謡と フォークソング	クローバーズによる演奏と 合唱
11月21日	晴れ	琴演奏	あざみの会による琴演奏と 合唱
12月21日	晴れ	軽い運動	健康増進課による運動
1月22日	晴れ	ハンドベル	ベルママンによる演奏と合 奏、合唱
2月20日	晴れ	知徳高校生徒との交流	生徒主導によるレクリエー ション(言葉遊びとボール まわし)
3月20日	晴れ	マンドリン演奏と合唱	金岡マンドリンクラブによ る演奏と合唱

【事業進捗】

仲良会前日等に民生委員から再度連絡を入れることで、当日欠席者が減少した。参加申込み数と当日参加数が10名から20名の相違がある。欠席者を確認し民生委員に報告し現状や心身状態を確認することで異変の早期発見を行うことができた。今後も地域包括支援センターと連携し情報共有を行っていく。ボランティアの方々と意見交換を行い、参加者にとって月1回の楽しみの場となるよう継続していく。

イ 緊急通報システム「福祉電話」設置事業

長泉町に居住するおおむね65歳以上でひとり暮らし高齢者を対象に福祉電話を設置し、緊急時の通報体制の確立を図った。

設置状況

	設置数
31年3月末	99
30年9月末	102
増減内訳	取付3 撤去6

【事業進捗】

取り外し理由は入所や永眠による撤去などであった。取り付けの依頼は、主に民生委員からの情報提供による。

一人暮らし高齢者の方に必要な事業が行き届くよう今後も民生委員と連携の強化を図っていく。また機器本体及びペンドントのNTT業者による定期点検について利用者より業者の信頼性を確認する問合せが度重なり、NTTと検討し社協から日程調整の確認連絡をいれ、安心して継続利用できるよう整えた。助成金振込時期に民生委員と情報共有することで利用状況の確認を図ることができている。

ウ ひとり親家庭社会参加事業

夏休みにひとり親家庭の親子及び親同士のふれあいを深め、且つ参加者相互の情報交換や仲間作りの場を設けること、母子寡婦福祉会の啓発を目的として交流事業を開催した。

- ・開催日 8月25日（土）
- ・目的地 よみうりランド
- ・参加者 9名（大人4名、子供5名）

【事業進捗】

平成29年度から母子寡婦福祉会非会員は入会することを参加の条件としており、平成29年度は6世帯の入会があったが、今年度新規入会世帯はなく、参加世帯も例年より少なかった。一方で、参加世帯の中に昨年度新規加入した世帯があり、母子会行事への継続したつながりがあることがわかった。

周知方法の見直しとして、町内保育園へのチラシの配架などをはじめとした関係機関への協力を依頼していきたい。実施時期については近年夏休み終了間際のため、夏休み以外での開催も視野に入れている。事業内容は乳幼児から中高生まで楽しむことができる「食」をテーマとした事業展開も検討している。

エ 視覚障がい者情報提供事業

目の不自由な方に対する公共的な情報の提供を行うため、ボランティアの協力を得て、声の広報発行事業や点字による情報提供事業を実施した。

i 声の広報発行事業

- ・『広報ながいづみ』年24回発行、『議会だより』年4回発行
- ・『福祉ながいづみ』年12回発行

ii 点訳の支援

点字による情報提供が円滑に推進されるよう、福祉団体室内的点字プリンターやパソコンを点訳活動に活用し、ボランティア活動を支援した。

オ 車椅子貸出事業

病院や施設からの一時外泊等、介護保険制度で非該当となる事例に対し介護者の負担軽減を図るため車椅子を貸し出した。また、学校などで福祉教育の教材として使用するために無料で車椅子を貸し出した。

- ・貸出期間 1ヶ月480円（3ヶ月を限度とする）

車椅子貸出状況

	個人向け貸出件数	教材等貸出件数
31年3月末	14	2
30年9月末	24	0
合計	38	2

【事業進捗】

一定期間の貸出事業であるが長期貸出を希望しているケースがあることから、依頼者から情報を確認し一定期間を超える貸出の場合に介護保険など適切な機関に繋げる支援を行っていく。

車椅子を安全に使用できるよう、定期点検を業者に依頼し、実施した。

カ 新入学児童黄色い帽子贈呈事業

児童の健全育成と交通安全を祈念する目的で、小学校新入学児童への交通安全帽子を入学時に贈呈した。（経費は平成29年度分）

・贈呈日 4月6日（金）入学式

・該当者数 男子221名 女子220名 合計441名

(4) 福祉団体への助成

① 事業概要

高齢者や戦没者遺族、障がい者等当事者及び家族、又は支援者によって結成された各福祉団体に対し、それぞれの目的達成に向けた活動が円滑に行われるよう、運営費の助成や連絡調整、コピー機等の無償提供、福祉会館等貸室利用料の免除、研修や行事等のマイクロバス運行などの支援を行った。

また、団体事務局の設置が必要な団体には担当職員を配置し、行事企画運営や参加者取りまとめ等、会務運営の支援を行った。

② 事業内容

- ・福祉団体助成金交付事務
- ・団体事務局の運営（シニアクラブ長泉、遺族会、手をつなぐ育成会）
- ・団体会員及び上部団体等との連絡調整

③ 事務局設置団体

ア シニアクラブ長泉

健康・友愛・奉仕活動を通じて仲間づくり、健康づくりなど生活を豊かにする楽しい活動、地域を豊かにする社会活動を推進する地縁高齢者団体のシニアクラブ長泉に対して支援した。

i 会務運営支援

- ・総会（4月23日）151名参加
- ・三役会（毎月）
- ・理事・女性部長合同会議（毎月）
- ・プラスワン委員会（適宜）
- ・町補助金適正化に向け長寿介護課と打ち合わせ
- ・上部団体及び単位クラブ連絡調整

ii 健康・文化活動事業支援

- ・第46回グラウンドゴルフ大会（5月24日）405名参加
- ・第26回輪投げ大会（6月21日）506名参加
- ・ながいすみクリーンアップ作戦（9月15日～21日）

- ・第44回スポーツ大会（9月20日）663名参加
 - ・第47回グラウンドゴルフ大会（11月15日）373名参加
 - ・健康ウォーキング事業（各クラブで実施）
 - ・サークル活動への支援（グラウンドゴルフ・長泉音頭＆レクリエーションダンス・フラダンス・健康マージャン・健康美体操・学び直し教室・折り紙）
 - ・健康ストレッチ教室の開催（10月～3月）毎月第2・4水曜日
- iii 友愛活動その他活動支援
- ・友愛訪問員研修会の企画、友愛交流会（簡易リンパマッサージ教室）、交流研修会（交通安全教室）
 - ・広報紙「シニアクラブ長泉だより」の編集発行（7月号・1月号）

イ 長泉町遺族会

i 会務運営

- ・上部団体等との連絡調整・文書受付及び取り次ぎ等

ii 団体活動

- ・総会資料作成補助・年会費等徴収事務
- ・役員・支部長会議等案内
- ・護国神社参拝、万灯祭等の参加者取りまとめ

ウ 長泉町手をつなぐ育成会

i 会務運営

- ・総会（5月9日）
- ・上部団体及び駿東郡各町育成会との連絡調整
- ・文書受付及び取り次ぎ等

ii 団体活動

- ・行事案内、参加者取りまとめ・行事支援（当日同行）
- ・行事支援者の調整

④ 運営費助成団体一覧

（単位：円）

	団体名	助成額	備考
1	シニアクラブ長泉	750,000	事務局支援
2	長泉町遺族会	720,000	事務局支援
3	長泉町身体障害者福祉会	650,000	
4	長泉町手をつなぐ育成会	300,000	事務局支援
5	長泉町母子寡婦福祉会	270,000	
6	精神保健福祉長泉きせがわ会	100,000	
7	沼津地区更生保護女性会長泉支部	50,000	
8	ながいすみ断酒会	20,000	
合 計		2,860,000	

1 - 3 福祉総合相談事業

1 福祉総合相談事業

(1) 福祉総合相談事業

町民の身近な相談機関として、福祉に関することをはじめ、様々な悩みや心配事などの相談に応じ、福祉ニーズとサービスを結ぶ支援体制として、民生委員・児童委員や他機関との連携を図りながら、総合的に相談業務を行った。また、相談専用電話を設置し、匿名も含め電話での相談に応じた。

- ①開設時間 月曜日～金曜日 午前 8 時 15 分～午後 5 時
- ②開設場所 福祉会館 3 階相談室
- ③相談件数 80 件
- ④相談人数 80 人（男性 56 人、女性 24 人）
- ⑤相談方法 80 件（来所 30 件、電話 46 件、訪問 4 件）

相 談 内 容 ・ 处 理 状 況					
区 分	解 決	再 来	民 生 委 員	機 門 紹 介	計
生 計					
年 金					
職 業・生 業		3 2			3 2
住 宅					
家 族	1	1			2
結 婚					
離 婚					
健 康・衛 生		3		1	4
医 療					
精 神 保 健		4		1	5
人 権・法 律					
財 産					
事 故					
児童福祉・母子保健		4		1	5
教 育・青 少 年					
心 身 障 害 者 福 祉	1	1 5		3	1 9
母 子・父 子 福 祉					
老 人 福 祉	1	6		6	1 3
苦 情					
そ の 他					
合 計	3	6 5	0	1 2	8 0

(2) 暮らしの相談「法律」

この専門相談は、法律専門家が広く法律に関する生活問題の相談に応じ、適切な助言や援助を行い、地域住民の福祉の増進を図ることを目的に平成18年7月から開始した。今年度も毎月第4火曜日に実施した。

なお、この事業は法律専門家が不在となつたため、平成31年3月をもって終了した。

① 相談件数 8件

(3) 生活困窮者の社会参加支援

月1回、失業者および低所得者の社会参加支援として、生活福祉資金、小口資金償還中の者、償還したが就労できていない者、生活困窮者自立相談支援事業利用者等を対象に、福祉ながいづみ発送作業と茶話会を実施した。

参加者は少ないが、開催を訪問や電話連絡することにより、世帯状況の把握に努めている。

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
参加者数	3	2	2	1	1	1	
実施月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加者数	1	1	1	2	1	2	18

2 日常生活自立支援事業

本事業は、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち、判断能力が不十分な人が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うものである。

平成24年度から、相談受付や利用契約の締結と利用者支援を行っている。

(1) 職員配置：専門員2人（兼務）、生活支援員3人※平成31年3月末現在

(2) 利用者数

区分	平成30年度			
	高齢者症	知能的障害者	精神障害者	その他
継続	4	3	0	5
新規	0	0	1	1
解約	0	3	0	0
小計	4	6	1	6
合計	17人			

(3) 相談援助件数（カッコ内数字は生活保護受給者対応数）（単位：件）

内容 対象者 事項	本事業の利用に関するもの				その他	合計
	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他の 相談件数		
問合せ件数	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
初回相談件数	2(0)	0(0)	3(0)	3(1)		8(1)
相談援助件数	222(0)	244(59)	198(0)	565(227)		1229(286)
合 計	224(0)	244(59)	202(0)	568(228)	0(0)	1238(287)

3 生活困窮者自立支援法に基づく事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

平成27年4月から静岡県の委託を受け、「ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム」（静岡県社会福祉協議会及び県内12町社会福祉協議会、NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡で構成）により、生活困窮者自立相談支援事業を実施した。

① 相談件数 328件

② 相談実人数 27人（男性19人、女性8人）

うち、本人未特定 0人

以前からの継続者 9人（男性5人、女性4人）

今年度新規相談者 18人（男性14人、女性4人）

③ プラン確認実人数（再プランを含む件数） 4人（4件）

プラン評価し支援終了者 6人

④ 住居確保給付金申請実人数 0人

⑤ 支援状況 （単位：件）

相談処理状況	計
電話相談・連絡	98
訪問・同行支援	35
面談	60
所内会議	32
支援調整会議（プラン策定）	4
支援調整会議（評価実施）	6
その他他機関との会議	6
他機関との電話照会・協議	70
その他	17
合 計	328

⑥ 支援実績 (単位：人)

今年度新規就労	3 (1)
一般就労	3 (1)
その他就労系福祉サービス含む	0
他制度、他機関紹介、情報提供等で支援終了 (初回評価)	8 (2)
〃 (2回目以降評価)	0 (0)
プラン評価し終結	6 (4)
中断・終了 (連絡がとれない等)	4 (1)
継続支援	9 (2)
合 計	27 (9)

※ () 内数字は一昨年度、昨年度からの継続者

※継続支援とは、求職者が就労した後も住居確保給付金受給や相談援助を行っている、就労以外の生活に困窮した課題があり相談援助をしている者等を示す。

⑦ 支援調整会議

第1回開催日：平成30年9月27日（木）

第2回開催日：平成31年3月18日（月）

(2) 家計相談支援事業

また、今年度より、自立相談支援事業に併せ、新たに家計相談支援事業も「ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム」で静岡県の委託を受けている。

① 支援実績 1人

(3) ふじのくに型学びの心育成支援事業（学習支援事業）

平成28年度から静岡県の委託を受け、「SUNTO-TAGATA スタディ・サポートコンソーシアム」(NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡、社会福祉法人共済福祉会、社会福祉法人聖家族の園、社会福祉法人蒼樹会、静岡県社会福祉協議会及び函南町・清水町・長泉町社会福祉協議会で構成)により実施した。

本事業は、生活困窮世帯等の子どもを対象に、学びの場を提供し、学習、生活、教育の支援および相談をすることにより、自立促進を図るとともに学習支援事業の普及を促進することを目的としている。

(4) その他

① 「フードバンクふじのくに」のフードドライブへの協力

フードドライブとは、家庭等に眠っている食品を集めてフードバンクに寄付する食品寄付運動であり、生活困窮者支援に対する地域住民の協力や理解、啓発を目的に、フードバンクふじのくにが実施する

フードドライブに協力した。

福祉ながいすみ等で呼びかけ、収集窓口として対応した。

- ・夏季フードドライブ（8月1日から8月31日）

長泉町社会福祉協議会に寄せられた寄贈食品重量：75.9キロ

- ・冬季フードドライブ（1月7日から1月31日）

長泉町社会福祉協議会に寄せられた寄贈食品重量：48.5キロ

② 地域ケア会議に出席

長泉町地域包括支援センターからの依頼を受け出席した。

日程 平成30年8月21日（火）

内容 高齢者の子ども世代のひきこもり状態に対する支援をテーマ
に「ネットワーク構築」「地域課題発見機能」を目的に開催され
た。

4 生活福祉資金貸付事業

静岡県社会福祉協議会が実施主体となり、低所得世帯等に対する生活福祉資金の貸付の窓口として、長泉町における相談受付、償還事務を行う。償還事務については、民生委員・児童委員の協力と適宜情報交換を実施。償還の遅れている者については連絡や訪問をしている。

(1) 貸付実績 1件

貸付資金 : 緊急小口資金 50,000円

(2) 償還完了 0件

(3) 相談対応

	合計		貸付相談		償還相談		その他相談	
	件数	時間	件数	時間	件数	時間	件数	時間
4月	2	0:13	0	0:00	2	0:13	0	0:00
5月	1	0:05	0	0:00	0	0:00	1	0:05
6月	6	1:00	2	0:35	0	0:00	4	0:25
7月	2	0:20	1	0:10	0	0:00	1	0:10
8月	2	0:15	0	0:00	0	0:00	2	0:15
9月	1	0:30	1	0:30	0	0:00	0	0:00
10月	5	6:25	3	5:10	0	0:00	2	1:15
11月	1	1:00	1	1:00	0	0:00	0	0:00
12月	5	1:40	0	0:00	1	0:05	4	1:35
1月	3	4:40	2	4:35	0	0:00	1	0:05
2月	0	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0:00
3月	5	5:15	5	5:15	0	0:00	0	0:00
合計	33	21:23	15	16:15	3	0:18	15	3:50

※時間：対応時間の累計

【事業進捗】

1 福祉総合相談事業(3)生活困窮者の社会参加支援の効果

家族以外の他者との交流を伴わない外出はしているが、仕事や学校に行っておらず、社会的な活動の参加のない就労意欲のある若者に対し、就労支援員と連携して、「福祉ながいづくり発送作業と茶話会」に声かけを続けた。今年度末に1度参加することができ、次回も参加の意思を表している。

また、就労系福祉サービスの利用に繋がった者から、「福祉ながいづくり発送作業と茶話会」に自分のモチベーションの維持を理由に参加し続けたり、発送作業を続けたことが福祉的就労でも役立った、と聴いている。

社会的活動の場としてだけでなく、本人の自己肯定感に繋がる場になっていることがうかがえる。

2 相談事業から見える長泉町での支えあい活動

(企業および地域や個人、シニアクラブからの食品支援)

フードドライブへの協力を契機に、募集期間以外でも地域や個人から食品を提供いただいているほか、シニアクラブからは友愛活動等で使用しているレトルト食品の一部を提供いただいている。

また、平成30年度からは新たにJA南駿の産直市の組合員の皆様や沼津米穀様からも野菜やお米の提供いただいており、社会福祉協議会において町内での支援活動に役立たせていただいている。

これらのことは、生活困窮者自立支援制度の理念に掲げる目標である「生活困窮者の尊厳の確保」と「生活困窮者支援を通じた地域づくり」に繋がっていると感じている。

なお、社会福祉協議会に寄せられた食品は、「ふじのくに型学びの心育成支援事業（学習支援事業）」の食事の提供にも活用がされている。

3 総合的な相談対応

制度の狭間にいる子どもを支援しているスクールソーシャルワーカーの活動支援として、福祉総合相談事業で連携機関の提案や食料支援等を行った。

1 - 4 共同募金配分金事業

1 - 1 一般募金による事業

昨年度寄せられた共同募金及び歳末たすけあい募金助成金により、福祉育成援助活動費として4事業、老人福祉活動費として2事業を実施した。

(1) 共募助成金事業内訳

項目	期日	内容	助成額
1 福祉育成援助活動費			2,425,410 円
1 福祉教育実践校事業	通年事業	指定校助成金	300,000 円
2 福祉健康まつり開催事業	10月21日	事業費・業務委託費等	1,996,672 円
3 生活困窮者等食糧支援パック	通年事業	事業費	19,578 円
4 ひとり親家庭親子交流事業	8月25日	事業費	109,160 円
2 老人福祉活動費			804,000 円
1 ひとり暮らし高齢者食事会「仲良会」	年11回開催	給食費10回分	665,760 円
2 シニアクラブスポーツ大会	9月20日	参加賞	138,240 円
助成金総額			3,229,410 円

(2) 費用按分事業内訳

項目	サービス区分1 (共募配分金)	サービス区分2 (地域福祉活動)	総事業費 (1+2)
1 福祉教育実践校事業	300,000 円	300,000 円	600,000 円
2 福祉健康まつり開催事業	1,996,672 円	1,035,599 円	3,032,271 円
3 ひとり暮らし高齢者食事会「仲良会」	665,760 円	211,569 円	877,329 円
4 ひとり親家庭親子交流事業	109,160 円	30,600 円	139,760 円

2 歳末たすけあい募金助成事業

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、町内在宅者に対しては民生委員を通じて、施設入所者に対しては本会理事、町福祉保険課の協力を得て配分金をお届けした。

項目	基 準	対 象	助成額
1 高齢者への贈呈事業			429,000 円
1 低所得の高齢者世帯	5,000 円／世帯	8 世帯	40,000 円
2 低所得の一人暮らし高齢者	5,000 円／世帯	73 世帯	365,000 円
3 寝たきり高齢者	6,000 円／世帯	4 世帯	24,000 円
4 6か月以上長期入院者	3,000 円／人	0 名	0 円
2 障害児・者への贈呈事業			295,000 円
1 身障手帳 1～3 級又は療育手帳 A・B 又は精神保健福祉手帳 1～3 級で低所得	5,000 円／世帯	29 世帯	145,000 円
2 障害者支援施設等入所者	3,000 円／人	50 名	150,000 円
3 児童・青少年への贈呈事業			234,000 円
1 一人親家族で低所得	5,000 円／世帯	42 世帯	210,000 円
2 児童養護施設（乳児院等）措置入所児童	3,000 円／人	8 名	24,000 円
4 住民全般への贈呈事業			1,053,345 円
1 低所得・要保護世帯	5,000 円／世帯 + 3,000 円／人	72 世帯 226 名	1,038,000 円
2 歳末たすけあい助成事務諸経費			15,345 円
5 地域福祉・在宅サービス事業費			60,000 円
1 長泉町手をつなぐ育成会クリスマス会			30,000 円
2 長泉町障がい児の将来を考える会エールクリスマス会			30,000 円
助 成 金 総 額			2,071,345 円

1 - 5 手話通訳者派遣事業（長泉町受託事業）

1 事業目的

聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者(以下「聴覚障がい者等」という。)並びに聴覚障がい者等と意志の疎通を図る必要のある者が手話通訳を必要とする場合に手話通訳者を派遣し、意思伝達の手段を確保することにより、聴覚障がい者等の福祉の増進及び社会参加の促進に資することを目的とする。

2 事業内容

(1) 運営状況

- 登録手話通訳者 4名(町内2名、広域登録2名)
- 手話通訳等報酬 1時間3,180円 交通費1kmあたり40円支給

(2) 手話通訳者派遣事業実績

月 件数		通 訳 者 派 遣 数							項 目 别 件 数														
		時 間 帯		登 録 者 数		派 遣 場 所			手 話 登 録 者 派 遣 時 間 合 計		生 命 健 康		官 公 署		職 業		教 育		教 育	住 居	地 域 生 活	団 体 活 動	そ の 他
		昼	夜	町 内	町 外	町 内	町 外	生命健康	官公署	職業	教育	教養自己	住居	地域生活	団体活動	その他							
		件数	件数	人数	人数	件数	件数	時間	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数			
4月	27	22	5	23	11	11	16	54:30	13			1							10	3			
5月	21	20	1	13	16	10	11	70:35	8			1							12				
6月	34	31	3	25	20	14	20	89:31	15			3							13	3			
7月	31	27	4	20	18	7	24	87:28	19										10	2			
8月	25	22	3	18	11	10	15	52:25	12									2	6	5			
9月	30	26	4	12	24	10	20	65:51	15	1	1	1	1					1	9	1			
10月	27	26	1	15	14	8	19	58:13	19	1		1							5	1			
11月	19	16	3	18	6	10	9	62:15	5	1		1							12				
12月	21	20	1	13	17	12	9	63:20	6										15				
1月	19	17	2	17	10	9	10	55:53	6			1							12				
2月	17	17		12	12	6	11	56:20	5			1	1						9	1			
3月	20	18	2	20	11	9	11	78:25	9	2	1		1					1	6				
H30 合計	291	262	29	206	170	116	175	794:46	132	5	3	10	2	0	4	119	16						
H29 合計	260	213	47	241	126	144	116	779:50	86	2	2	14	3	1	7	136	9						

(3) 手話奉仕員養成講座

聴覚障がい者の生活及び関連する福祉制度について理解と認識を深め、手話で日常会話をを行うのに必要な手話技術や手話表現技術の習得を図る。

- i 開催日 5月10日（木）～平成31年2月28日（木）毎週木曜19:00～
全40講座・6講義
- ii 会場 長泉町福祉会館
- iii 対象者 長泉町在住、在勤の高校生以上の方
- iv 参加者 18名受講（出席率80%以上で修了証交付）
- v 修了者 15名（町内10名）

【事業進捗】

20名の募集人数に対し18名（途中1名体調不良のためキャンセル）の申し込みだった。周知徹底を行い一定の成果が伺えた。長期講座のため受講生の欠落が予想されたが、15名の方が修了者された。また、一人でも多くの方に手話通訳者を目指してもらうため、県の手話通訳者養成講座受講への参加の促進と共に、町内の手話サークルへ繋げるための周知を図った。

※手話通訳者になるためには、奉仕員養成講座1年、通訳者養成講座3年を修了後、試験を受け、最低でも4年が必要となる。

(4) 夏休み子ども手話教室

聞こえない人の言葉「手話」の学習を通じて聴覚障がい者との交流と理解を深めることを目的に、初級クラスと中級クラスに分かれ3日間開催した。

- i 開催日 7月29日（日）～7月31日（火）3日間
※7/28（土）は台風の影響により中止
- ii 会場 長泉町福祉会館
- iii 対象者 長泉町在住の小学1年生から中学3年生
- iv 参加者 13名（初級クラス8名・中級クラス5名）
- v 講師 長泉町身体障害者福祉会ろうあ部、長泉町登録手話通訳者会手話サークルふくろうの会

【事業進捗】

募集・周知には、ろうあ部と手話通訳者会に協力いただき、直接小中学校に伺い、先生と今後に繋がる顔合わせも含め、話をすることができた。

南小・北小については、距離もあることから親が送迎することがある。そのため、親の仕事の関係で土日は参加できるが平日の月火曜日は参加できない生徒がいた。送迎についてと日程については検討課題である。

福祉教育での展開、学校や教育委員会と連携し、学校の総合学習への組み入れなどを調整し、手話や聞こえない人達との接点を多く作っていくことで関係性の構築を図る。

1－6 心身障害児放課後対策事業（長泉町受託事業）

1 事業目的

長泉町心身障害児放課後対策事業は、保護者が労働等により昼間家庭で保育できない心身障がい児を対象として放課後の活動の場を提供することにより、児童の健全な育成及び保護者の養育負担の軽減を図り、もってその福祉の増進に寄与することを目的とする。

2 事業内容

- (1) 児童の自主性を尊重した遊び等の見守り
- (2) その他児童の健全育成上必要な活動に関するこ

3 利用状況

月	開所日数	登録者数	利用延人数	活動状況
4月	20	7	69	公園外出
5月	21	6	67	公園外出、調理実習
6月	21	5	60	避難訓練
7月	21	5	60	お誕生会、公園外出、七夕、読み聞かせ 映画会、プール、調理実習
8月	21	5	53	公園外出、プール、お誕生会、買い物、 虫取り、調理実習、お祭り外出、イベント参加
9月	17	5	46	公園外出
10月	22	5	61	ハロウィンパーティー
11月	21	5	53	調理実習
12月	19	5	52	秋のつどい、お誕生会、クリスマス会、 忘年会（カラオケ）
1月	18	5	42	調理実習
2月	18	5	44	お誕生会
3月	17	5	45	ひな祭りお菓子作り、6年生を送る会、 調理実習、公園外出等
H30合計	236	5	652	
H29合計	242	10	1,302	
増減	-6	-5	-650	

4 ボランティア・実習生受け入れ

読み聞かせボランティア 1団体 ふくろうの読みもの屋

期間…7月17日、12月19日

ボランティア 8名

大学生 1名 8月8日、9日、15日

大学生 1名 8月14日～16日

高校生 1名 8月8日～10日

高校生 1名 8月14日

中学生福祉体験 1名 7月30日～8月1日

中学生福祉体験 1名 8月2日～3日

中学生福祉体験 2名 8月8日～10日

5 研修

7月3日 放課後等デイサービスたんぽぽ見学 2名

7月12日 放課後等デイサービスたんぽぽ見学 3名

9月26日 メンタルケア講習会 4名

10月12日 放課後等デイサービスIRODORI 4名

11月5日、11月26日、11月30日、12月8日

静岡県放課後児童支援員認定資格研修 2名

1月21日 子どもの虐待防止研修 2名

2月25日 ぶれジョブ（御殿場特別支援学校PTAによる就労体験） 2名

6 その他

各特別支援学校の福祉事業所連絡会、オープンスクール、公開授業研究会に参加。保護者の了解のもと子どもとの関わり方や思春期初期の支援方法について学校と相談するとともに、わかあゆにおける状況を提供し学校と情報共有・連携を強化した。

長泉町障がい者自立支援協議会事業所部会及び子育て支援部会に参画し、町内の事業所との連携を強化するとともに、子育て支援部会では、切れ目のない支援を目的とした「長泉町子育てサポートファイル」の作成委員事業所として活動を行った。

職員のスキルアップを目的として長泉町内にある放課後等デイサービスおよび御殿場特別支援学校PTAが行っている就労体験を見学することで将来を見据えた子どもとの関わり方を学ぶ機会を設けた。職員の基礎技能向上を図るため2名静岡県放課後児童支援員認定資格研修を受講し資格取得した。

心身障がいを持った子ども達を知ってもらうため高校生や大学生のボランティアを積極的に受け入れた。その際、SDGs17のターゲットと今回の活動を絡めて説明し、それを踏まえてボランティア活動をしてもらった。

1 - 7 小口資金貸付事業

1 事業目的

長泉町に居住し、かつ住所登録のある低所得者で、緊急又は不時の出費を要する者に対し、生活の自立と福祉の増進を図るため、民生委員と連携して生活指導及び小口資金の貸付けを行った。

2 貸付状況

申込状況		決定状況		申込に対する決定率	
件数	金額	件数	金額	件数(%)	金額(%)
3件	45,000円	4件	75,000円	100%	100%

・決定1件30,000円は、前年度借入申込分

3 償還状況

項目	貸付金額		償還金額		不納欠損額		貸付残高 ①-②-③
	件数	金額①	件数	金額②	件数	金額③	
当年度分	4件	75,000円	6件	50,000円	0件	0円	25,000円
過年度分残高	6件	126,000円	11件	53,000円	1件	29,000円	44,000円
合計	10件	201,000円	17件	103,000円	1件	29,000円	69,000円

・償還終了件数：5件

・不納欠損件数：1件

貸付日：平成22年12月7日

償還回数：1回

【事業進捗】

償還が滞っていた借入者が、今年度再就職後の生活が安定し完済することができた。生活困窮者自立支援事業とも連携して、借入者の近況確認と償還促進に取り組む。

1-8 生活支援体制整備事業（長泉町受託事業）

1 事業目的

日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図ることを目的とする。

2 事業内容

この事業は長泉町役場長寿介護課からの受託事業であり平成30年4月から開始した新規事業である。長泉町社会福祉協議会に第1層生活支援コーディネーター（以下、第1層SC）を1名配置。町内3箇所の地域包括支援センターに第2層生活支援コーディネーター（以下、第2層SC）を1名ずつ配置し地域の実情にあった体制づくりを目指していく。

- (1) 地域ニーズと資源の状況の見える化
- (2) 関係者のネットワーク化
- (3) 目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一
- (4) 生活支援の担い手の養成やサービスの開発
- (5) ニーズとサービスのマッチング 等

3 第1層協議体

- (1) 事務局 町長寿介護課
- (2) 構成委員 学識経験者（社会福祉士会）
福祉関係団体の代表者（民児協）
福祉関係団体の代表者（シニアクラブ）
生活支援サービス事業者の代表（シルバー人材センター）
地縁による団体の代表者（区長連絡協議会）
介護サービス事業所の代表（いずみの郷）

- (3) 開催回数 年3回

- ① 第1回協議体
 - ・日 時：7月10日(火) 14：00～15：30
 - ・内 容：協議体自己紹介、事業概要説明
- ② 第2回協議体
 - ・日 時：11月13日(火) 14：00～15：30
 - ・内 容：事業実施状況説明、アンケート結果報告
- ③ 第3回協議体
 - ・日 時：2月26日(火) 14：00～15：40
 - ・講 師：静岡福祉大学特任教授 増田樹郎氏
 - ・内 容：長泉町における助け合いの創出の意義や必要性

4 生活支援体制整備事業啓発活動

平成30年4月から開始した新規事業であるため各団体の会議に参加し第1層SCの自己紹介や事業概要の説明、啓発を行った。

会議名	出席日
小地域福祉活動連絡会	4月27日(金)
民生委員・児童委員協議会役員会	4月4日(水)
民生委員・児童委員協議会定例会議	4月9日(月)
民生委員・児童委員協議会ブロック長会議	5月14日(月)
シニアクラブ長泉理事・シニアクラブ女性部合同会議	5月14日(月)
ボランティア連絡協議会	5月30日(水)
傾聴ボランティアふらっと定例会	8月24日(金)



各団体へ事業説明と挨拶



第1層第2層地区活動訪問

5 ネットワークの構築

地域福祉活動を実践している団体と情報交換を行い、地域の実情を把握し顔の見える関係づくりを行った。支え合いの推進を行った。

(1) 民生委員児童委員協議会地域ブロック会議に出席

ブロック名	地区名	委員	第1層SC	第2層SC
Aブロック	元長窪 上長窪 谷津 下長窪 池田 屋代住宅 尾尻住宅	13人	1回	1回
Bブロック	駿河平 南一色 主任児童委員	8人	2回	1回
Cブロック	納米里 上土狩 惣ヶ原	11人	4回	2回
Dブロック	中土狩 エンゼル 新屋町上 新屋町中 新屋町下	13人	4回	2回
Eブロック	駅上 駅中 駅下 荻窪 鮎壺 シャルマン鮎壺	9人	3回	1回
Fブロック	原区 西区 東区 薄原上 薄原下 主任児童委員	10人	4回	2回
Gブロック	三軒家 杉原 原分 高田 グランツ	9人	2回	2回
Hブロック	シャルマン竹原 竹原 本宿 主任児童委員	13人	3回	3回

(2) オレンジサポーターとの連携

① 認知症サポーターフォローアップ研修

- ・日 時：7月24日(火) 14:00～15:30
- ・会 場：長泉町役場 第1・第2委員会室
- ・参加者：講師 中村 晴信氏
オレンジサポーター13名

(平成28年度平成29年度ステップアップ講座修了者)

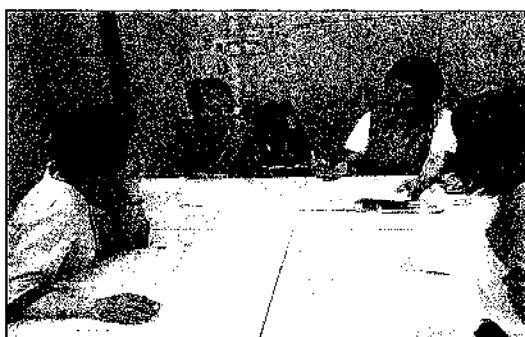
第1層・第2層SC(コーディネーター役)

- ・内 容：地域で認知症の人を支援する活動を実践的に行えるようSCと協働し情報交換

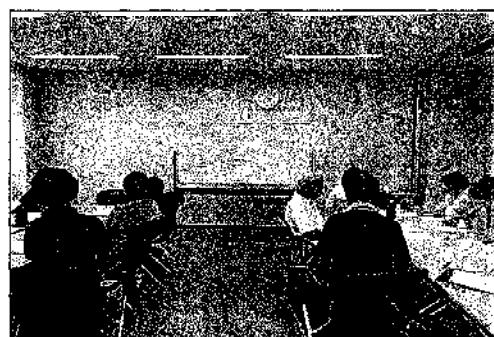
② 認知症サポーター担い手養成会議

- ・日 時：8月22日(水) 13:30～15:00
- ・会 場：マーガレット(グループホーム)
- ・参加者：オレンジサポーター

- ・内 容：オレンジサポーターの活動の場について検討



生活支援体制整備事業会議の様子



認知症サポーターとの連携

6 ニーズ調査の実施

地域における高齢者の困りごとについての現状を把握する為、ヒアリング調査アンケート調査を実施し、情報収集を行った。

(1) ヒアリング調査

① シルバー人材センター

- ・日 時：8月21日(火) 13:30～15:40
- ・内 容：軽度生活援助事業や会員、マッチングについて

② 若年層子育て世代ヒアリング調査

- ・期 日：3月13日(水)
- ・内 容：高齢者のたすけあい参画について

(2) アンケート調査

① 町の指定を受けている介護サービス48事業者

- ・期 間：8月9日から8月31日
- ・方 法：郵送・FAXによる回収
- ・回答数：41事業者

② 第2層協議体研修会参加地域住民16名

- ・実施日：11月9日(金)
- ・回収率：100%
- ③ 長泉町社会福祉協議会情報共有7部門合同会議
 - ・実施日：11月13日(火)
 - ・回収率：71.4%
- ④ ひとり暮らし高齢者仲良会参加者81名
 - ・実施日：11月21日(水)
 - ・回収率：72.8%
- ⑤ ケアマネ連絡会
 - ・実施日：11月22日(金)
 - ・回答数：4事業所

7 生活支援コーディネーター情報共有連絡会議

長寿介護課1名と第1層SC1名、3地区地域包括支援センター第2層SC各1名合計5名で生活支援体制整備事業における会議を行った。

(1) 平成30年度生活支援体制整備事業連絡会議(定期)

開催	日程	議題
第1回	4月24日(火)	生活支援体制整備事業計画情報共有
第2回	7月20日(金)	フォーラムとニーズ調査について
第3回	9月26日(水)	ヒアリング・アンケート調査結果について
第4回	10月19日(金)	各SC活動報告、第2層協議体について
第5回	3月7日(木)	第2層SC活動、第1層SC活動計画案

(2) 情報共有会議(臨時)

開催	日程	議題
第1回	5月15日(火)	団体、自治会への事業説明について
第2回	6月19日(火)	認知症サポーター連携について
第3回	9月26日(水)	ニーズ調査結果とフォーラムについて

(3) 長泉町が開催する地域ケア会議に出席

平成30年度介護予防のための地域ケア会議

・日 時：8月29日(水) 14:00～15:30

・会 場：長泉町役場北館2階会議室

・参加者：各地区地域包括支援センター3名

長寿介護課 1名 / 理学療法士 1名

管理栄養士 1名 / 保健師 1名

主任ケアマネ1名 / 第1層SC

・内 容：各地区地域包括支援センター3名からの事例検討

8 長泉町社会福祉協議会内連携

生活支援体制整備事業における社協内で連携し様々な取り組みを行った。

(1) 情報共有会議

- ・日 時：1月17日(木) 14：00～15：30
- ・会 場：いづみの郷3階研修室
- ・参加者：事務局6名、訪問、通所、居宅各1名
- ・内 容：高齢者の困りごとに対する情報交換や現在のニーズ、必要なサービスについて情報共有

(2) 小地域福祉活動へのいづみの郷地域貢献とレディサービスが保有するレクリエーション道具の貸出を行った。

対象区	期日	道具名
薄原下区	1月25日(金)	スカットボール
谷津区	2月18日(月)	スカットボール
原区	2月27日(水)	スカットボール

9 たすけあい活動に向けて動機づけや仕組みづくり

(1) 第2層協議体研修会

- ・日 時：11月9日(金) 13：30～15：30
- ・会 場：福祉社会館4階会議室
- ・講 師：さわやか静岡 木下 さち子氏、鈴木 明与氏
- ・内 容：地域でボランティア活動等を積極的に取り組む住民に参加を依頼し、たすけあいカードを使用したすけあいの仕組みを学んだ。KJ法を用いて高齢者の課題を発表した。



たすけあいカードの実践



グループごと発表の様子

(2) 長泉町地域たすけあいフォーラム開催

- ・日 時：2月5日(火) 13：00～15：30
- ・会 場：コミュニティながいづみ3階ホール
- ・参加者：地域住民141名
- ・講 演：さわやか福祉財団 堀田 力会長
- ・内 容：生活支援体制整備事業行政説明
生活支援コーディネーター紹介
パネルディスカッション



フォーラムに参加した地域住民



たすけあいの意思確認



パネリストの地域福祉活動発表



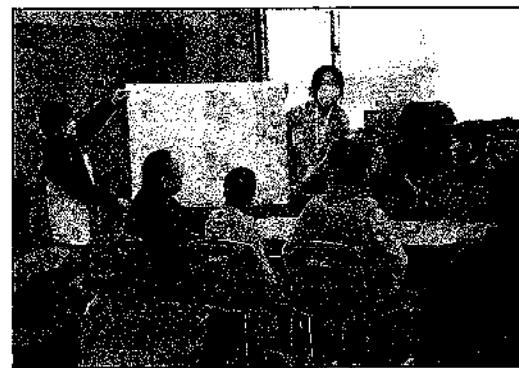
堀田会長から第1層SCへ質問

(3) 住民主体で実施している地区的公民館活動に参加した。住民と一緒に活動を行いネットワークの構築や住民同士の助け合いにおける啓発を行った。

地区名	日程	場所	参加人数	参加者
薄原上区	2月6日(水)	薄原上区公民館	15名	すすきの会
駅上区	2月22日(金)	駅上公民館	10名	駅上サロン
南一色区	2月28日(木)	南一色区公民館	20名	小地域参加者
上土狩区	3月25日(月)	上土狩公民館	30名	区民
北小校区	3月17日(日)	モク・オハナ	24名	校区住民



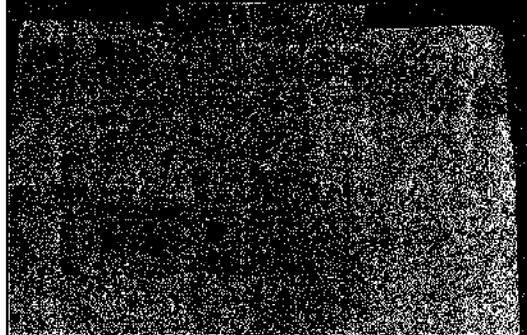
地区について住民同士で話し合い



KJ法を用いて発表



第2層SCとの連携



住まいの区について考える

【事業進捗】

初年度は主に顔の見える関係づくり、信頼関係づくりを重点項目とした。関係団体との信頼関係を築くと共に地域の実情を把握するニーズ調査や地域に出向き地域の情報収集を行った。下半期は地域たすけあいフォーラム開催に向けて、さわやか静岡のコーディネーターと共に動機づけや仕組みづくりを行った。

今後、地域たすけあいフォーラムからどのように展開していくか、住民主体のたすけいの創出を目指し第2層SCと協働する。

また、地域の生活課題の掘り起こしや調査結果を活かし課題を明確に捉え、今後のSC活動に繋げていきたい。今年度実施したヒアリング及びアンケート調査を継続的に実施し、結果を共有し住民ニーズを掘り下げ必要なサービスの創出に繋げていくこととする。

1 - 9 認知症初期集中支援チーム事業（長泉町受託事業）

1 事業目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で生活することができるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、認知症の早期診断・早期対策に向けた支援体制を構築することを目的とする。

2 事業概要

認知症初期集中支援チーム事業は平成30年度からの新規事業であり、長泉町長寿介護課からの受託事業である。

- (1) 支援時間 月曜日～金曜日 午前8時15分～午後5時15分
- (2) 支援人員 チーム員 長泉町社会福祉協議会内
　　福祉職1名（事務局・介護福祉士）
　　医療職1名（いずみの郷・看護師）
　　地域包括支援センター職員1名（長寿介護課）
　　チーム医 花メディカルクリニック医師

3 事業内容

(1) 支援内容

- ①実働件数 8件（終結4件、継続4件）
- ②相談経路 包括入電6件、社協入電2件
- ③その他相談 7件

(2) 実働実績

認知症初期集中支援の実施（6ヶ月を目途に終結）

月	訪問回数 (人回)	チーム員 会議	ケース支援	その他
4月	0	0回		
5月	8	1回	No.1 / No.2	
6月	6	0回	No.1 / No.2 / No.3	
7月	3	0回	No.1 / No.2 / No.3	
8月	2	1回	No.1 / No.2 / No.3	No.1終結
9月	6	0回	No.2 / No.3	
10月	2	1回	No.3	No.2終結
11月	8	0回	No.4 / No.5	
12月	1	1回	No.4	
1月	3	0回	No.6	

2月	2	1回	No.5	No.3/No.4 終結
3月	9	1回	No.6 / No.7 / No.8	
H30合計	50	6回		

4 啓発及び会議

- (1) Dogwood (ハナミズキ)の会～長泉町認知症家族会～
- ・日 時：7月8日（日）14：00～15：30
 - ・開催場所：特別養護老人ホーム・さつき園
 - ・出席者：チーム員2名
地域包括支援センター職員1名
 - ・内 容：認知症初期集中支援チーム概要説明
- (2) 認知症を考える地域会議及び認知症初期集中支援チーム検討委員会

① 第1回

- ・日 時：5月23日（水）14：00～15：30
- ・出席者：チーム員1名
- ・開催場所：長泉町役場第2・3会議室
- ・内 容：平成30年度事業計画、認知症地域支援推進員及び徘徊高齢者等見守り事業について情報共有
認知症初期集中支援チームの活動について報告

② 第2回

- ・日 時：11月30日（金）14：00～15：30
- ・出席者：チーム員1名
- ・開催場所：長泉町役場北館2階東会議室
- ・内 容：長泉町の高齢者を取り巻く現状について
認知症地域支援推進員の活動について
認知症疾患センターの取組みについて
認知症初期集中支援チームの活動報告

【事業の進捗】

ゲートキーパーである地域包括支援センターと連携し、進捗状況や課題を共有した中で、訪問時に適宜地域包括支援センター職員と同行訪問をし、ネットワーク強化を図りながら支援に努めた。医療職・福祉職の観点を大切に、共通認識の中で医療福祉に繋げていくことを目的とし、チーム医とチーム員会議の日程調整や事業理解など全体の共通認識における仕組みを強化していきたい。

地域包括支援センターのアセスメント内容から、認知症初期集中支援チームに活動要請を図る理由を明らかにし、質の向上に繋げていきたい。

認知症初期集中支援チームの「初期」にはファーストタッチの早期と認知症症状の初期の2つの意味が込められている為、今後も円滑で迅速な対応を図っていきたい。

2 老人福祉センター

2-1 福祉社会館事業（長泉町指定管理事業）

1 事業目的

福祉社会館は、老人福祉センター、地域福祉センターの機能を持った複合施設として、住民の健康と福祉の増進並びに住民相互の交流を図るため、健康相談事業、機能回復訓練、文化教養の向上の場として活用され、健康で助けあう生きがいのある町づくりの拠点となるべく隣接する在宅福祉総合センターと連携し、良質な福祉サービスを提供した。

2 管理業務の状況

- (1) 清掃・環境衛生業務（平成29年度から平成31年度の長期継続契約）
 - ① 日常清掃（毎日、火曜日・年末年始を除く※ただし、月曜祝日等で営業した翌日は実施）
 - ② 定期清掃 床清掃（年6回） 浴室天井壁面清掃（年4回）
 - ③ 窓ガラス清掃、屋上ドレンロゴミ取り（年4回）
 - ④ 衛生管理 害虫防除（年2回）空気環境測定（年4回）
 - ⑤ 濾過系統配管消毒業務（週1回）
レジオネラ菌防止対策のため配管の高濃度塩素消毒
- (2) 管理員派遣業務（毎日） シルバー人材センターからの管理員派遣
- (3) エレベータ点検（月1回） エレベータ機器の保守点検（法定点検含）
- (4) 夜間警備業務（毎日） 夜間閉館時の機械警備業務
- (5) 浴槽設備点検（年2回）、各浴槽設備、ろ過機等点検、24時間対応貯湯槽清掃消毒業務（年1回） レジオネラ菌防止対策の清掃消毒
- (6) 給水設備点検 給水設備（貯水槽、給水ポンプ）の保守点検（隔月1回）、飲料水・給湯水検査（年2回）・貯水槽清掃滅菌作業（年1回）
- (7) 浴槽水水質検査 レジオネラ属菌検査 気泡風呂（2ヶ月／奇数月）一般項目検査（年2回）※レジオネラ菌が繁殖しやすい夏季期間（7月～9月）は毎月検査し、浴槽の安全性を確認した。
- (8) 電気保安業務（隔月1回） 機械室内変圧器等、変電・発電設備点検
- (9) トイレ消臭機器保守（隔月1回）大広間前トイレ消臭機器保守管理
- (10) ボイラー設備点検（年4回） 昇温・給湯ボイラー機器の保守点検
- (11) 消防設備点検（年2回） 自動火災報知設備・屋内消火栓・誘導灯及び誘導標識・非常放送設備・消火器の点検
- (12) 自動ドア点検（年2回） 機器の保守点検
- (13) 空調機定期点検及び簡易点検 フロン排出抑制法に基づき点検実施
- (14) 特殊建築物・建設設備定期報告（年1回） 建築基準法第12条第3項に基づく定期報告書作成業務
- (15) 地下タンク漏貯蔵所漏洩検査（年1回）重油用地下タンクの微加圧検査

3 施設利用状況

(1) 長泉町福祉会館浴室利用状況

(単位:人)

月	開館 日数	浴室・大広間								一日 平均	健康 相談		
		有料				無料			合計				
		大人 一般	高齢者 障害者	短時間	小人	シニア クラブ	大人	その他					
4月	26	163	298	2,595	90	193	76	0	3,415	131	450		
5月	27	136	322	2,641	45	201	86	0	3,431	127	468		
6月	26	148	292	2,536	88	181	80	0	3,325	128	437		
7月	26	143	342	3,278	93	164	77	0	4,097	158	451		
8月	27	146	356	3,320	106	124	0	250	4,302	159	463		
9月	28	168	343	3,675	124	165	65	68	4,608	165	506		
10月	24	109	230	2,315	41	161	77	0	2,933	122	423		
11月	26	144	253	2,765	45	154	81	0	3,442	132	460		
12月	24	141	270	2,624	55	174	84	0	3,348	140	399		
1月	24	136	262	2,912	52	192	72	0	3,626	151	427		
2月	25	134	241	2,960	56	156	74	0	3,621	145	425		
3月	27	152	291	3,072	57	139	83	0	3,794	141	494		
合計	310	1,720	3,500	34,693	852	2,004	855	318	43,942	142	5,403		
29年度	309	1,986	3,080	30,234	1,079	2,174	939	50	39,542	128	5,049		
増減	1	-266	420	4,459	-227	-170	-84	268	4,400	14	354		

※浴室・大広間利用は、大人一般、小人利用者が減少したのに対し、高齢者・障害者、短時間の利用者が増加した。

※無料その他は県民の日開放のため増加した。(前年度未実施)

短時間利用者 の推移	H22(10月～)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	2,777	6,171	7,777	16,997	21,926	26,327	29,130	30,234	34,693

(1)-2 会議室等利用状況

(単位:件数)

月	会議室等利用件数											
	有料				無料				合計			
	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計
4月	8	17	20	45	30	24	25	79	38	41	45	124
5月	11	17	19	47	39	27	34	100	50	44	53	147
6月	12	16	23	51	30	27	33	90	42	43	56	141
7月	6	21	19	46	37	22	31	90	43	43	50	136
8月	7	10	16	33	25	27	27	79	32	37	43	112
9月	7	15	6	28	40	26	32	98	47	41	38	126
10月	7	18	13	38	33	25	34	92	40	43	47	130
11月	10	22	12	44	38	29	32	99	48	51	44	143
12月	9	17	8	34	33	21	25	79	42	38	33	113
1月	11	18	5	34	32	29	17	78	43	47	22	112
2月	9	19	13	41	41	28	25	94	50	47	38	135
3月	13	23	13	49	39	33	28	100	52	56	41	149
合計	110	213	167	490	417	318	343	1,078	527	531	510	1,568
29年度	97	225	212	534	447	320	385	1,152	544	545	597	1,686
増減	13	-12	-45	-44	-30	-2	-42	-74	-17	-14	-87	-118

※会議室無料利用の件数減少は、一部団体利用回数が減少したため

(単位:人数)

月	会議室等利用人数											
	有料				無料				合計			
	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計
4月	99	143	226	468	325	293	357	975	424	436	583	1,443
5月	127	133	186	446	509	262	385	1,156	636	395	571	1,602
6月	154	103	237	494	348	330	386	1,064	502	433	623	1,558
7月	88	173	205	466	396	234	406	1,036	484	407	611	1,502
8月	87	75	308	470	222	236	375	833	309	311	683	1,303
9月	58	74	71	203	496	219	400	1,115	554	293	471	1,318
10月	100	141	102	343	425	284	2,423	3,132	525	425	2,525	3,475
11月	107	221	170	498	506	427	405	1,338	613	648	575	1,836
12月	102	135	148	385	403	314	410	1,127	505	449	558	1,512
1月	99	146	37	282	309	286	358	953	408	432	395	1,235
2月	100	137	150	387	512	347	333	1,192	612	484	483	1,579
3月	165	172	165	502	465	298	510	1,273	630	470	675	1,775
合計	1,286	1,653	2,005	4,944	4,916	3,530	6,748	15,194	6,202	5,183	8,753	20,138
29年度	995	1,937	2,372	5,304	5,081	3,496	8,413	16,990	6,076	5,433	10,785	22,294
増減	291	-284	-367	-360	-165	34	-1,665	-1,796	126	-250	-2,032	-2,156

(2) 浴室、会議室等使用料収入

(単位：円)

月	券売機	回数券	小計	会議室	その他 公衆電話他	合 計	29年度	増減
4月	612,200	80,000	692,200	92,600	370	785,170	705,980	79,190
5月	606,800	84,000	690,800	55,100	300	746,200	700,640	45,560
6月	584,100	85,000	669,100	56,800	300	726,200	623,710	102,490
7月	740,000	98,000	838,000	35,500	430	873,930	785,480	88,450
8月	743,400	89,000	832,400	25,400	450	858,250	843,040	15,210
9月	825,700	85,000	910,700	31,300	430	942,430	854,980	87,450
10月	532,100	66,000	598,100	39,900	430	638,430	646,090	-7,660
11月	611,200	86,000	697,200	23,000	400	720,600	705,470	15,130
12月	592,900	80,000	672,900	24,500	540	697,940	662,710	35,230
1月	638,000	67,000	705,000	13,800	580	719,380	618,680	100,700
2月	638,700	63,000	701,700	50,600	530	752,830	543,850	208,980
3月	673,600	79,000	752,600	36,300	500	789,400	728,250	61,150
合計	7,798,700	962,000	8,760,700	484,800	5,260	9,250,760	8,418,880	831,880

(3) 健康器具利用料収入

(単位：円)

月	カラオケ	ヤレブレックス	マッサージ	合計	29年度	増減
4月	128,800	38,100	17,900	184,800	208,500	-23,700
5月	128,600	45,400	21,300	195,300	199,100	-3,800
6月	121,200	44,400	19,700	185,300	199,900	-14,600
7月	124,400	47,000	26,000	197,400	214,200	-16,800
8月	124,000	45,800	26,200	196,000	215,400	-19,400
9月	119,400	45,300	28,000	192,700	207,900	-15,200
10月	95,100	42,300	20,200	157,600	179,500	-21,900
11月	114,100	42,400	19,000	175,500	183,000	-7,500
12月	103,100	35,600	16,300	155,000	163,800	-8,800
1月	95,700	37,800	18,200	151,700	154,100	-2,400
2月	99,400	38,600	19,800	157,800	135,700	22,100
3月	118,300	49,400	18,700	186,400	182,200	4,200
合計	1,372,100	512,100	251,300	2,135,500	2,243,300	-107,800

4 水道光熱費・燃料費支出

(単位：円)

月	水道光熱費					燃料費 A重油	合計	29年度	増減
	電気	LPガス	炭酸ガス	水道	計				
4月	302,253	53,833	66,096		422,182	733,320	1,155,502	752,621	402,881
5月	278,215	58,196	69,984	559,270	965,665	563,760	1,529,425	1,415,266	114,159
6月	301,408	53,412	81,648		436,468	393,120	829,588	893,899	-64,311
7月	370,730	38,336	104,976	519,190	1,033,232	589,680	1,622,912	1,361,839	261,073
8月	506,356	45,604	93,312		645,272	388,800	1,034,072	1,067,758	-33,686
9月	459,955	43,477	93,312	604,800	1,201,544	596,160	1,797,704	1,899,388	-101,684
10月	364,166	47,646	93,312		505,124	602,640	1,107,764	1,129,907	-22,143
11月	309,591	42,968	93,312	562,280	1,008,151	814,084	1,822,235	1,612,555	209,680
12月	346,539	46,004	93,312		485,855	583,200	1,069,055	970,805	98,250
1月	349,148	45,436	58,320	508,200	961,104	563,760	1,524,864	1,487,523	37,341
2月	437,956	50,356	69,984		558,296	583,200	1,141,496	1,009,414	132,082
3月	361,344	46,921	81,648	535,700	1,025,613	812,160	1,837,773	1,404,670	433,103
合計	4,387,661	572,189	999,216	3,289,440	9,248,506	7,223,884	16,472,390	15,005,645	1,466,745
29年度	3,926,731	685,398	887,436	3,237,760	8,737,325	6,268,320	15,005,645		
増減	460,930	-113,209	111,780	51,680	511,181	955,564	1,466,745		

※燃料費について、使用量は減少したが、重油価格高騰のため増額した。

5 水道光熱及び燃料使用量

月	水道光熱量		燃料使用量 A重油(単位:L)
	電気(単位:kwh)	上下水道(単位:m³)	
4月	16,416	0	8,000
5月	14,492	2,403	6,000
6月	15,735	0	4,000
7月	19,133	2,240	6,000
8月	25,838	0	4,000
9月	22,990	2,605	6,000
10月	18,058	0	6,000
11月	15,339	2,421	8,000
12月	17,232	0	6,000
1月	17,204	2,187	6,000
2月	21,726	0	6,000
3月	17,529	2,302	8,000
H30合計	221,692	14,158	74,000
H29合計	227,235	14,460	76,000
増減	-5,543	-302	-2,000

6 修繕等実施状況（請負金額 10万円以上）

(単位：円)

No.	項目	金額	内容
1	排水ポンプ設備フロートスイッチ交換工事	190,080	下水道排水ポンプ設備のフロート不良のため交換
2	屋外排水管改修工事	216,000	排水管亀裂漏水のため改修
3	屋内電気室非常用発電機起動用バッテリー及び触媒栓交換工事	207,360	バッテリー、触媒栓老朽化のため交換
4	男子超音波用ポンプ更新工事	259,200	男子超音波用ポンプ漏水のため更新
5	2階エレベータホール空調機絶縁不良に伴う渡り配線入替工事	151,200	空調機配電盤設備の絶縁不良のため配線入替
6	教養娯楽室2茶室電熱式炉壇取替修繕	181,036	電熱式炉壇の老朽化による電源スイッチ不良のため交換
7	人工炭酸泉E半自動切替セミオ更新工事	356,400	人工炭酸泉E浴槽用ポンベ庫の半自動切替装置不良のため更新
8	3階印刷室・相談室LED照明器具交換工事	329,400	既設照明器具が老朽化による不良のためLED照明に交換
9	3階売店床・壁修繕	183,600	売店に隣接した給湯室の漏水による床一部腐食劣化のため修繕
10	非常灯不点灯・弱点灯バッテリー交換工事	148,500	特定建築物検査の建設設備点検による指摘のため交換
11	大広間放送設備交換工事	474,322	大広間放送設備の老朽劣化のため交換

7 安全対策

(1) 福祉会館入場者傷害保険

施設利用者を対象とした傷害保険に加入。

1名あたりの担保内容、年間保険料

種別	補償額	備考
死亡・後遺障害	500万円	会館利用者を対象とする。
入院日額	3,000円	事故の日から180日を限度とする。
通院日額	2,000円	事故の日から180日の間のうち、90日の通院を限度とする。

(2) 防災訓練の実施

① 危険物安全週間における訓練

実施日：6月18日（月）

参加者：10名

内 容：館内消火器・消火栓配置、避難誘導経路の確認を実施。

② 救急訓練・通報訓練

実施日：6月25日（月）・27日（水）

参加者：15名（シルバー管理人、健康相談員）

内 容：夜間営業に合わせて、AED講習、通報訓練を実施。

③ 地震防災訓練

実施日：8月26日（日）

参加者：職員10名（事務局職員・シルバー管理人・健康相談員）

内 容：地震発生後の館内放送、利用者避難誘導避難誘導の他、個別訓練として、ニコニコ水力発電充電池運搬訓練、いづみの郷避難所開設運営研修を実施。

(4) 富士山南東消防本部立入検査

実施日：10月4日

①消防対象物（消防法第4条）

要改善事項なし

②危険物施設（消防法第16条の5）

改善を要する事項	内 容	改善日
免状の書換え	危険物取扱者免状の写真の書換えをすること	12月20日
各種届出	設置者変更による危険物製造所等設置者氏名等変更届出書の届出	11月12日

(5) レジオネラ属菌対策

レジオネラ症防止対策の条例に従い、レジオネラ属菌対策を実施した。

- ① 気泡発生装置と濾過器を使用した循環式浴槽（5浴槽）は年2回の一般水質検査と2ヶ月に1回のレジオネラ菌検査を実施。
- ② 気泡発生装置を有する浴槽の濾過器・集毛器を洗浄・消毒。（毎日）
- ③ 浴槽濾過系統配管を高濃度塩素で洗浄・消毒。（週1回）
- ④ 貯湯槽を清掃・消毒。（年1回）

8 その他

(1) 浴室・大広間の営業時間の延長について（平成25年度から実施）

勤労者や家族、若年層などの利用促進を図るため、また、利用状況にかかるデータを収集することで実際のニーズを把握し、今後の運営方針の参考とするため営業時間の延長について町と協議し、承認された。

① 期 間 7月1日（日）から9月30日（日）

3月間（月曜日を除く、但し月曜日が祝日等の場合は実施）

② 延長時間 17時00分から20時30分（3時間30分）

③ 利用結果 (単位：人)

月	営業日	利用者数	1日 平均利用者	昨年度 1日平均利用者	増減
7月	27	1,125	42	42	0
8月	27	1,176	44	48	-4
9月	28	1,239	44	48	-4
合計	82	3,540	43	46	-3

(単位：人)

時間帯内訳	7月	8月	9月	合計
16:30～17:00	166	171	241	578
17:00～17:30	190	211	211	612
17:30～18:00	196	181	201	578
18:00～18:30	182	199	239	620
18:30～19:00	167	158	176	501
19:00～19:30	224	256	171	651
合計	1,125	1,176	1,239	3,540

夜間売上内訳	大人券 500円	高齢者 障害者 300円	子供 100円	短時間 200円	合計
7月利用人数	0	0	56	1,069	1,125
7月売上	0	0	5,600	213,800	219,400
8月利用人数	0	0	60	1,116	1,176
8月売上	0	0	6,000	223,200	229,200
9月利用人数	0	0	74	1,165	1,239
9月売上	0	0	7,400	233,000	240,400
7月～9月利用合計	0	0	190	3,350	3,540
売上合計	0	0	19,000	670,000	689,000

④利用者アンケート調査の実施

(2) 施設の無料開放について

- ① 県民の日に合わせて施設を無料開放し、県の広報を通じて町内外に広く施設 PRを行い、利用促進を図ることについて町と協議し、承認された。(※昨年度実績なし)

日 時	無 料	シニアクラブ	合 計
8月21日 (火)	250人 うち夜間(102人)	0人	250人

- ② 敬老の日に合わせて町内高齢者を対象に施設を無料開放し、施設 PRと利用促進を図ることについて町と協議し、承認された。

日 時	無 料 (町内 65 歳以上)
9月17日(月)	68人 うち夜間(16人)

(3) ボランティア

近隣住民や有志の方々の協力により、敷地内外の環境整備、館内展示物の更新を図ることができた。

No.	活動内容	回数
①	草刈り・植木剪定・周辺清掃	随時
②	絵手紙展示	随時
③	折紙展示	随時

(4) 施設見学受入

4月3日(火) 役場新規採用職員 8名

(5) 順天堂大学保健看護学部実習受入

高齢者との関わりを通じて高齢者の加齢に伴う身体の変化とその生活を知り、健やかな老いについて考察する実習のため看護学生を受け入れた。

No.	日付	午前 9:00~12:00	午後 13:00~16:00	人数
1	9月4日(火)	学び直し教室 4階会議室		5名
2	9月5日(水)	いきいき気功教室 1階遊戯室	健康相談 利用者交流	まとめ 5名
3	9月6日(木)	フラダンスサークル 2階研修室		4名
合 計				14名

(6) 高齢者援護活動の推進

① ふれあい推進事業の充実

福祉会館利用者の交流促進のため、ふれあい推進事業の効率的な運営に努めた。

事業内容	内 容
カラオケ	1日30曲～60曲程度
舞 踊	随時（空き時間を利用）
囲碁、将棋、卓球、オセロ	用具の貸し出し（随時）

② シニア趣味サークルへの支援

シニア世代の健康の増進と交流による仲間づくりを促進するため事務的支援を行った。

サークル名	活 動 日	時 間	会 場
社交ダンスサークル	毎週土曜日	午後	2階研修室
将棋サークル	第1・3火曜日	午後	2階教養娯楽室1
囲碁サークル	第2・4火曜日	午後	2階研修室
表千家茶道サークル	第1・3木曜日	午前	2階教養娯楽室2
華道サークル（松風古流）	第1・3水曜日	午前	2階教養娯楽室2

③ 福祉会館利用高齢者に対する送迎の実施

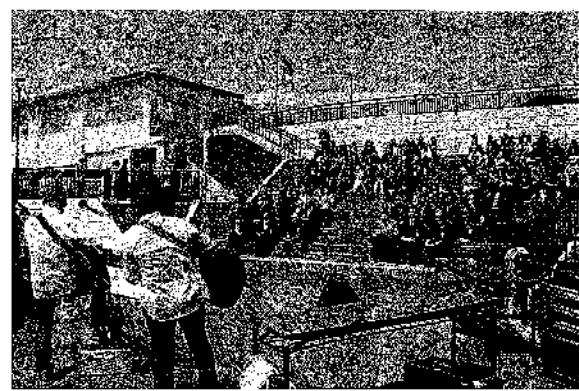
高齢者相互の交流と健康の維持・増進を図り、福祉会館の利用を促進するため、町内の単位老人クラブを対象としたマイクロバスによる送迎を行った。

- ・マイクロバス利用単位クラブ
- ・25クラブ中17クラブ／月1～3回

(7) 福祉会館西側テラス広場オープニングセレモニー（町実施）

4月9日（月）正午 式典・民生委員OB「クローバーズ」の演奏

3月に完成した西側テラス広場のお披露目式を開催し、民生委員・シニアクラブ役員・近隣住民を中心に約100名が参加した。



(8) 福祉会館駐車場整備事業（第5駐車場）

町実施事業として、福祉会館北側の旧保健センター駐車場跡地を第5駐車場として整備された。

（期間：平成30年 7月19日～平成30年12月14日）

(9) 町実施計画に基づく修繕

① 福祉会館内装改修工事

施設1階を新規事業に活用するため玄関のスロープ化、集会室・遊戲室の壁紙、床シートの張替、旧図書室を新会議室へ改修したほか施設内防煙垂壁を交換した。

（期間：平成30年10月18日～平成31年2月15日）

【事業の進捗】

本年度は、池田終線の開通、西側テラス広場、施設駐車場の完成により施設周辺の景観、交通事情等の大幅な変更が生じたなかで、町の高齢者福祉施設として地域諸団体と連携するとともに福祉関係団体等、特に高齢者団体にとって利用しやすい施設経営に努めた。

浴室の夏季夜間営業も6年目を迎え、今後横ばい傾向が予想されるが、アンケート調査において、60代から70代のシニア世代を中心に健康志向の人工炭酸泉を目当てで利用し、年間を通じての夜間営業を希望する意向が多いことが明らかとなっている。

このため、施設の指定管理者としても、3期14年目を迎え、翌年度の更新年度を踏まえ、シニアクラブを中心とした地域の高齢者、ボランティア等福祉関係団体等の意向を踏まえつつ、新設された展望テラスの利用促進のPRを図りながら期待される施設機能を十分に活かす経営の企画立案・調整を図るため町との協議を精密にしてきたい。

3 介護サービス事業

3-1 居宅介護支援事業

1 事業概要

要介護、要支援、事業対象者と認定された利用者に心身の状況や希望、生活課題を考慮して居宅サービス計画を作成し、本人及び家族の支援を行った。介護サービスが適切かつ効果的に提供されるよう医療と連携を図り、居宅サービス事業所等の連絡調整、並びに居宅サービスの給付管理を実施した。

2 事業内容

- (1) 要介護・要支援認定、更新申請や福祉サービス等の申請代行。居宅サービス計画の作成及び計画後の管理。
- (2) 近隣市町の福祉・医療・事業所と連携を図り、入退院時に速やかに在宅生活が継続できるようカンファレンスを開催しケアプランを作成した。
- (3) 居宅介護支援事業所として、地域包括ケアシステムの実現に向けて、地域で支え合う仕組みづくりが推進されるよう、各種会議や研修会に出席した。

3 利用状況

(1) 居宅サービス計画作成件数

件数 月	居宅介護支援件数						介護予防支援件数				月別 合計
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	要支援 1	要支援 2	総合 事業	計	
4月	31	29	19	9	8	96	9	9	2	20	116
5月	26	31	20	8	8	93	9	9	2	20	113
6月	29	30	22	7	11	99	9	9	2	20	119
7月	28	30	20	7	10	95	9	10	2	21	116
8月	29	32	16	9	9	95	10	10	2	22	117
9月	27	30	17	8	8	90	9	11	1	21	111
10月	33	28	20	8	7	96	9	12	1	22	118
11月	29	27	20	8	9	93	9	12	1	22	115
12月	25	27	19	8	8	87	8	12	2	22	109
1月	23	29	16	9	8	85	8	13	2	23	108
2月	23	28	16	9	7	83	8	13	2	23	106
3月	25	26	19	9	8	87	7	14	2	23	110
H30 合計	328	347	224	99	101	1,099	104	134	21	259	1,358
H29 合計	340	303	247	115	107	1,112	68	93	48	209	1,321
増減	△12	44	△23	△16	△6	△13	36	41	△27	50	37

(2) 加算・減算の状況

	加 算						減 算	
	初回	退院 退所	入院	緊急	ターミナル	特事Ⅲ	運営	集中
4月	3	0	0	0	0	96	0	0
5月	2	1	0	0	0	93	0	0
6月	5	0	0	0	0	99	0	0
7月	1	2	0	0	0	95	0	0
8月	3	0	0	0	0	95	0	0
9月	1	0	0	0	0	90	0	0
10月	3	0	3	0	0	96	0	0
11月	3	0	1	0	0	93	0	0
12月	0	0	1	0	0	87	0	0
1月	0	1	1	0	0	85	0	0
2月	1	0	0	0	0	83	0	0
3月	3	1	0	0	0	87	0	0
H30 合計	25	5	6	0	0	1,099	0	0
H29 期間計	27	2	1	0	0	1,112	0	0
増 減	△2	3	5	0	0	△13	0	0

4 居宅介護支援実績

	介護実績	支援実績	新規受入れ	終了者
H30年合計	1,099	259	29	23
H29年合計	1,112	209	36	22
増 減	△13	50	△7	1

5 研修・会議

4/11	主任介護支援連絡会	10/30	包括支援合同会議	12/24	在宅医療・介護連携会議
5/17	介護支援専門員連絡会	11/9	生活支援体制事業研修会	1/15	事例検討会(ステップの会)
5/23	認知症を考える会議	11/13	生活支援第1層協議会会議	1/17	生活支援コ-ディネ-タ-研修
8/1	歯科保健推進会議	11/15	ケアプラン検証会議・相談会	1/23	介護支援専門員行政説明会
8/16	長泉町ケア相談会	11/27	実習受入指導者説明会	2/21	事例検討会(モクオハナ)

6 監査及び行政機関調査の実施状況

(1) 長泉町居宅介護支援事業所の実地指導

ア 期 日 11月28日(水)

イ 文書指導事項 7事項 口頭指導事項 なし

ウ 改善結果報告書提出

利用総数については、前年比でみると要支援者の伸びが反映されている。地域包括支援センターからの新規依頼の増が一因と考えられる。また、要介護者の支援件数全体では、前年と比べ減となったが、要介護者の割合として医療ニーズや認知症の中・重度の利用者が多いことから、施設入所や支援終了者が多かったためと考えられる。今年度、導入した在宅医療・介護連携ツール・シズケアかけはしを有効に活用していきたい。

3-2 指定通所介護事業

1 事業概要

利用者の心身の特性を踏まえて、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、さらに利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並び家族の身体的・精神的負担の軽減を図るために、必要な日常生活上の世話及び機能訓練等の介護、その他必要な援助を行った。

- (1) 定員 通所介護、総合事業（合計）25人/日
- (2) 開所日 月曜日～土曜日

2 事業内容

- (1) 生活指導 (6) 給食サービス
- (2) 日常生活動作訓練 (7) 入浴サービス
- (3) 介護サービス (8) 介護方法の指導
- (4) 送迎サービス (9) 個別機能訓練
- (5) 健康状態の確認

3 利用状況

- (1) 指定通所介護(通介)、総合事業(要支援)（一体的に実施）(単位:日・人)

開所日数		登録者数		利用延人数		主な行事等
		通介	総合	通介	総合	
4月	25	34	5	350	33	いちご狩り
5月	27	33	5	353	35	ハーモニカ・ピアノ演奏会
6月	26	31	5	344	30	演芸
7月	26	32	4	334	30	七夕、納涼祭
8月	27	31	4	348	30	フラワーアレンジメント
9月	25	30	5	321	29	敬老会（幼稚園児交流）、ふれあい交流
10月	27	30	5	343	37	長泉小学校交流会
11月	26	30	5	327	34	三島楽寿園（菊華展）散策
12月	24	30	5	312	28	クリスマス会
1月	24	29	5	285	30	初詣（三嶋大社）
2月	24	29	4	314	28	節分、おやつ作り
3月	26	31	5	356	36	ひな祭り会
H30 合計	307	370	57	3,987	380	
H29 合計	308	411	67	4,448	422	
増減	△1	△41	△10	△461	△42	

4 平成30年度の取り組み

(1) 季節感のある居室装飾

(新緑、花、海、干支・絵馬、ハロウィン、紅葉、クリスマス)

(2) 寸劇・日本舞踊鑑賞会

(3) 園芸活動 (ゴーヤ・朝顔・ミニトマト・茄子・ひまわり)

5 ボランティアの協力

(1) 各種プログラム活動

内容・団体名等	活動頻度
喫茶サービス	偶 数 月
お話広場 (読み聞かせ)	毎 月
ヴァイオリン演奏会	毎 月
ハーモニカ演奏会鑑賞	毎 月
健康体操・マッサージボランティア	毎 月

(2) 活動支援ボランティア受入状況

(単位:人)

受入月	給食ボランティア		行事・日常生活支援	合 計
	団 体	個 人		
4月	40	27	36	103
5月	32	28	30	90
6月	16	42	38	96
7月	39	30	34	103
8月	13	16	42	71
9月	26	27	19	72
10月	22	23	31	76
11月	47	17	36	100
12月	10	19	35	64
1月	25	28	13	66
2月	41	26	11	78
3月	14	18	24	56
H30合計	325	301	349	975
H29合計	373	310	434	1,117
差 異	△48	△9	△85	△142

※活動支援ボランティア団体名

ヴァイオリンクラブ長泉ガーデン、傾聴ボランティアふらっと、
こどもの本とお話の会、大正琴倶楽部、マッサージボランティア、
民児協地域福祉部会、ホーム喫茶ボランティア、ピアノボランティア
ハーモニカボランティア

6 福祉教育、介護、看護実習受け入れ状況

認知症対応型通所介護事業と合同で年中行事、福祉教育実践、介護・看護実習生の受入を行った。

(1) 体験学習（ゲーム、創作レクリエーション、演奏会）

受入期間	体験学習依頼団体	内 容	人 数
6月7日～8日	長泉小学校	ふれあい交流 事前施設見学	171
8月6日～8日	長泉中学校	福祉体験	1
9月26日	長泉小学校	ふれあい交流	34
9月27日	長泉小学校	ふれあい交流	35
9月28日	長泉小学校	ふれあい交流	34
10月1日	長泉小学校	ふれあい交流	34
10月4日	長泉小学校	ふれあい交流	34
11月15日～16日	長泉中学校	職場体験	2
H 30 合 計			345名

(2) 実習生受け入れ

受入期間	体験学習依頼団体	内 容	人 数
4月16日～4月27日	知徳高校	介護体験実習	4
6月12日～6月15日	知徳高校	介護体験実習	4
6月18日～6月22日	知徳高校	介護体験実習	4
6月28日	新規採用教職員	福祉体験実習	5
7月2日～7月6日	新規採用教職員	福祉体験実習	4
7月9日～7月13日	新規採用教職員	福祉体験実習	4
9月3日～9月7日	知徳高校	介護体験実習	3
9月10日～9月14日	知徳高校	介護体験実習	4
10月29日～11月9日	知徳高校	介護体験実習	4
12月13日～19日	知徳高校	介護体験実習	8
H 30 合 計			44名

【事業進捗】

利用者の逝去、入所等に伴う利用終了を受け、新規の利用者獲得に努めているが、利用終了者は重度の方が多く毎週の利用回数が多いため、全体での延べ利用者数は前年同期比で減少している。

引き続き居宅介護支援事業所との連携を取り利用者確保に努めていくほか、職員の資質向上のため研修機会を増やしていきたい。

3-3 指定認知症対応型通所介護事業

1 事業概要

市町村が事業者の指定及び監督を行う地域密着型サービスが創設され、現在、いづみの郷認知症対応型通所介護事業所は町内唯一の指定を受けている。その役割使命を認識し、従来より実践されている認知症高齢者への通所介護サービスおよび介護者への支援をもって、在宅生活の継続を支援を行った。

- (1)定 員 認知症対応型通所介護、介護予防認知症対応型通所介護（合計）12人/日
(2)開所日 月曜日～土曜日

2 事業内容

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) 生活指導 | (6) 給食サービス |
| (2) 日常生活動作訓練 | (7) 入浴サービス |
| (3) 介護サービス | (8) 介護方法の指導 |
| (4) 送迎サービス | (9) 個別機能訓練 |
| (5) 健康状態の確認 | |

3 利用状況

- (1) 指定認知症対応型通所介護、指定介護予防認知症対応型通所介護（一体的に実施）
(単位:日・人)

	開所日数	登録者数	利用延人数	主な行事等
4月	25	11	134	外出行事（いちご狩り）
5月	27	11	136	演芸
6月	26	12	134	ピアノ演奏会
7月	26	13	143	七夕、納涼祭、
8月	27	12	130	ハーモニカ演奏会
9月	25	13	132	敬老会（幼稚園児交流）、ふれあい交流
10月	27	12	121	長泉小学校交流会
11月	26	12	143	三島楽寿園（菊華展）散策
12月	24	12	129	クリスマス会
1月	24	13	129	初詣（三嶋大社）
2月	24	13	127	節分、おやつ作り
3月	26	13	144	ひな祭り
H30 合計	307	147	1,602	
H29 合計	308	181	2,050	
増減	△1	△34	△448	

※指定介護予防認知症対応型通所介護は利用実績なし

4 平成30年度の取り組み

- (1) 季節感のある居室装飾（新緑、海、ハロウィン、紅葉、桜）
- (2) 演芸・日本舞踊鑑賞会
- (3) 園芸活動（あさがお、ピーマン、トマト、きゅうり）
- (4) 裁縫（椿、フクロウ、あじさい、ふうりん作り）

5 ボランティアの協力、福祉教育、介護、看護実習受け入れ状況

※ 活動内容に関しては通所介護事業との合同開催の為、指定通所介護事業
参照。

6 監査及び行政機関調査の実施状況

- (1) 長泉町指定地域密着型サービス事業者等の実地指導
 - ア 期 日 1月29日（火）
 - イ 出席者 町職員2名、事務局長、職員2名
 - ウ 文書指導事項 1事項
 - 口頭指導事項 2事項

【事業進捗】

利用者の逝去、入所等に伴う利用終了を受け、新規の利用者獲得に努めているが、利用終了者は重度の方が多く毎週の利用回数が多いため、全体での延べ利用者数は前年同期比で減少している。

なお、認知症対応型通所介護事業では、認知症予防や進行の遅延を目的とした学習療法、園芸療法、ドールセラピー、回想法などの各セラピーを充実させたほか、コミュニケーションもしくは非言語コミュニケーションによる交流、爽快感、開放感、安心感、季節感等、五感に働きかける豊かな環境作りに配慮した居室の装飾を施し、「昔とった杵柄」を再現する懐古プログラムによって、利用者様の感情に問い合わせる手法を心がけている。

3-4 指定訪問介護事業

1 事業概要

要介護者等の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行うことによって、要介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資することを目的として必要な援助を行った。

2 事業内容

(1) 身体介護に関すること

- | | | |
|---------|-----------|--------------|
| ① 入浴の介護 | ③ 食事の介護 | ⑤ 身体の清拭 |
| ② 排泄の介護 | ④ 衣類着脱の介護 | ⑥ その他必要な身体介護 |

(2) 生活援助に関すること

- | | | |
|------------|---------------|------------|
| ① 調理 | ③ 住居等の掃除、整理整頓 | ⑤ 関係機関との連絡 |
| ② 衣類の洗濯、補修 | ④ 生活必需品の買物 | ⑥ その他必要な家事 |

(3) 混合型 (①身体介護、②生活援助)

3 利用状況

利用者数・派遣延べ時間

(単位：人・時間)

	訪問介護					総合事業		総合計	
	利用者数 (人)	身体 (時間)	混合 (時間)	生活 (時間)	計 (時間)	利用者数 (人)	派遣時間(時 間)	能利用者数 (人)	累 派 遣 時 間 (時間)
4月	18	96.5	207.0	2.5	306.0	15	78.0	33	384.0
5月	19	108.0	193.0	4.5	305.5	14	89.0	33	394.5
6月	19	90.0	193.0	6.0	289.0	14	72.0	33	361.0
7月	18	83.5	200.5	4.0	288.0	15	77.0	33	365.0
8月	18	84.0	204.0	7.0	295.0	15	74.0	33	369.0
9月	17	74.0	180.0	7.0	261.0	15	75.0	32	336.0
10月	17	95.0	201.0	7.0	303.0	16	78.0	33	381.0
11月	17	72.0	182.0	7.0	261.0	15	74.0	32	335.0
12月	16	58.0	210.5	7.0	275.5	14	70.0	30	345.5
1月	17	76.5	181.0	7.0	264.5	15	66.0	32	330.5
2月	19	85.5	198.5	7.0	291.0	15	78.0	34	369.0
3月	18	86.0	180.0	3.5	269.5	15	72.0	33	341.5
H30 期間計	213	1,009.0	2,330.5	69.5	3,409.0	178	903.0	391	4,312.0
H29 期間計	206	1,128.0	2,312.5	72.5	3,513.0	153	877.5	359	4,390.5
増減	7	△119.0	18	△3	△104	25	25.5	32	△78.5

4 ヘルパー内部研修状況

開催日	内 容	参加人数
4月14日	ホームヘルパー活動記録の書き方について	14名
5月12日	認知症について	12名
6月9日	事例検討会	11名
7月14日	高齢者の脱水について	14名
8月18日	精神疾患の特性の理解と対応方法について	12名
9月8日	在宅介護を始めるときについて	13名
10月13日	疑似障害運動体験について	13名
11月10日	視覚障害者日常生活用具について	11名
12月9日	“イーちゃんの白い杖” 映画鑑賞	10名
1月12日	感染症について	13名
2月9日	認知症の理解とケアについて	13名
3月16日	介護食の作り方と献立について	9名

5 その他

地域の医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進することを目的として、長泉町在宅医療・介護連携推進会議に参加した。

3-5 障害福祉サービス 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

1 事業概要

身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病者的心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護、視覚障害者の社会参加その他の生活全般にわたる必要な援助を行った。

2 事業内容

(1) 身体介護に関すること

- ① 入浴の介護
- ④ 衣類着脱の介護
- ⑦ その他必要な身体介護
- ② 排泄の介護
- ⑤ 身体の清拭
- ③ 食事の介護
- ⑥ 外出時の介助

(2) 家事援助に関すること

- ① 調理
- ③ 住居等の掃除、整理整頓
- ⑤ 関係機関との連絡
- ② 衣類の洗濯
- ④ 生活必需品の買物
- ⑥ その他必要な家事

(3) 相談及び助言に関すること

- ① 生活、身上、介護に関する相談助言
- ② その他必要な相談助言

3 利用状況

(単位：人・時間)

利用者数	身体障害者				知的障害者				精神障害者				合計		
	派遣回数	派遣時間		利用者数	派遣回数	派遣時間		利用者数	派遣回数	派遣時間		利用者数	派遣回数	派遣時間	
		身体	家事			身体	家事			身体	家事				
4月	16	247	289.5	44.0	5	16	8.0	13.0	8	30	3.0	40.0	29	293	397.5
5月	16	259	299.5	64.0	5	15	5.0	14.5	8	33	3.5	42.0	29	307	428.5
6月	15	267	315.0	56.5	6	17	8.0	13.0	8	32	3.0	38.5	29	316	434.0
7月	15	280	336.0	52.0	5	14	6.5	12.5	8	31	3.0	39.5	28	325	449.5
8月	15	263	281.0	51.0	6	14	6.0	12.0	7	21	3.0	28.0	28	298	381.0
9月	15	239	282.5	38.0	6	15	7.0	13.0	6	25	13.0	22.5	27	279	376.0
10月	16	251	314.5	39.0	8	20	5.5	12.0	6	26	3.0	34.0	30	297	408.0
11月	16	221	293.0	42.5	9	25	6.0	20.0	6	23	3.0	30.0	31	269	394.5
12月	16	211	252.0	33.0	8	52	7.0	49.5	7	25	3.0	32.0	31	288	376.5
1月	17	233	245.0	40.5	9	38	4.0	35.0	7	26	3.0	33.5	33	297	361.0
2月	17	225	249.5	39.0	8	23	7.0	19.5	7	28	7.0	33.5	32	276	355.5
3月	17	251	287.0	40.5	8	21	8.0	15.0	8	32	7.0	38.5	33	304	396.0
H30 合計	191	2,947	3,444.5	540.0	83	270	78.0	229.0	86	332	54.5	412.0	360	3,549	4,758.0
H29 合計	157	2,499	2,999.0	498.0	81	411	97.0	340.0	93	364	53.5	454.0	331	3,274	4,441.5
増減	34	448	445.5	42	2	△141	△19	△111.0	△7	△32	1.0	△42.0	29	275	316.5

3-6 移動支援事業

1 事業概要

屋外での移動が困難な身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者の外出支援を行い、地域における自立生活および社会参加を促すことを目的として、社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動などへの参加のための移動を支援する。ただし、通勤通学等常時利用する場合は対象外となる。

2 事業内容

(1) 移動介助に関すること

- ① 社会生活上必要不可欠な外出
- ②余暇活動等の社会参加ための外出

3 利用状況

	利用者数（人）	派遣回数（回）	派遣時間（時間）
4月	5	9	14.5
5月	2	6	7.0
6月	3	6	8.0
7月	3	8	13.5
8月	2	4	6.0
9月	4	5	10.5
10月	5	6	15.5
11月	6	9	18.0
12月	6	9	20.5
1月	5	7	19.0
2月	4	7	17.0
3月	6	12	30.0
H30合計	51	88	179.5
H29合計	38	85	159.5
増 減	13	3	20.0

4 その他

長泉町内の障がい福祉関係機関が集まり 障がいがある人が住み慣れた地域で普通に暮らせる地域づくりを目指し長泉町障がい者自立支援協議会事業所部会に参加した。

3-7 地域活動支援センター事業（長泉町受託事業）

1 事業概要

この事業は、障がい者の創作的活動、機能訓練等のサービスを通所事業として提供することにより、自立促進、生活改善、身体機能の維持向上等を図り、自立と社会参加を促進することを目的として実施した。

また、利用者が自らの動機づけを失わないようなケアを実施し、手段的日常生活動作（外出、食事の仕度など）を促進した。特に、同様の障がいをもつ方との情報交換や意見交換、地域社会との交流を通して、精神的な安定や気力を保ちながら明確な目標をもてるよう障害福祉サービスの利用や多様な地域交流への参加について実践した。

2 事業内容

- | | |
|----------------------|------------|
| (1) 創作的活動事業（趣味・余暇活動） | (4) 給食サービス |
| (2) 社会適応訓練（外出訓練） | (5) 入浴サービス |
| (3) 機能訓練 | (6) 送迎サービス |

3 利用状況

(単位:日・人)

月	開所日数	登録者数	利用延人数	主な行事等
4月	20	16	75	いちご狩り（伊豆の国市）、親睦会の食事会
5月	21	16	78	茶摘みの壁画作り
6月	21	16	76	紫陽花の壁画作り
7月	21	16	76	七夕の飾り作り
8月	23	16	85	朝顔の壁画作り
9月	18	16	62	葡萄、コスモスの壁画作り
10月	22	16	79	秋の風景コスモスのクラフト作り
11月	21	16	76	雪だるま作り
12月	19	16	79	クリスマスの食事会
1月	19	18	72	初詣、親睦会の食事会
2月	19	18	78	節分の豆まき
3月	20	18	78	雛人形作り
H30 合計	244	198	914	
H29 合計	244	182	841	
増減	0	16	73	

4 活動報告

- (1) 外出訓練：いちご狩り伊豆の国市「大富農園」、初詣「三嶋大社」
- (2) 趣味活動：書道、刺繡、パッチワーク、マスコット作り、刺し子
- (3) 創作活動：壁画作り、装飾作品
- (4) 作業療法的活動：ビーズアート（壁掛け）、編み物、アイロンビーズ

【事業進捗】

新規の利用者増により、前年同期比で利用延べ人数は増加している。

なお、地域活動支援センターでの支援テーマは「仲間」であり、自分がどれだけかけがえのない存在であるか、そして自分らしさに気付き、発揮できるかといった課題をそれぞれがもって生活し、支えてくれる人々の和を意識した内容を中心に活動している。

II 公益事業

1 在宅福祉総合センター

1-1 在宅福祉総合センター事業（長泉町指定管理事業）

1 事業目的

在宅福祉総合センターいづみの郷は、在宅で援護を必要とする高齢者や障がい者に総合的なサービスを提供する設備を整備し、既存の福祉会館と連携し、町の福祉の拠点として設置された。本会は、町の指定管理者として、施設利用による住民相互の交流を図るため、集会室、研修室を月曜日から土曜日まで開館し、各種団体の会議や研修会等に施設を提供した。

2 管理業務の状況

(1) 清掃・環境衛生業務(平成29年度から平成31年度の長期継続契約)

① 日常清掃（土・日・祭日及び年末年始を除く毎日）

② 定期清掃（年1～6回）

床清掃（年6回）窓ガラス清掃（年4回）

厨房内清掃・カーペット清掃（年2回）

床面剥離洗浄清掃・アルミカーテンウォール清掃（年1回）

③ 総合設備管理業務

施設巡回保守点検・空調設備保守点検・給水設備保守点検・地下タンク及び埋設配管漏洩点検

④ 衛生管理

害虫防除（毎月） 空気環境測定・貯水槽清掃及び水質検査・湯水（レジオネラ菌）検査

（2）エレベータ点検（隔月1回） エレベータ機器の保守点検（法定点検含）

（3）夜間警備業務（毎日） 夜間閉館時の機械警備業務

（4）電気保安業務（月1回） 機械室内変圧器等、変電・発電設備点検

（5）消防設備点検業務（年2回）自動火災報知設備・屋内消火栓・誘導灯及び誘導標識・非常放送設備・消火器の点検

（6）自動ドア点検（年2回） 機器の保守点検

3 施設利用状況

(1) 長泉町在宅福祉総合センター利用者数

(単位:人)

月	開所 日数	集会室			研修室			合 計
		有 料	無 料	小 計	有 料	無 料	小 計	
4月	25	300	575	875	0	123	123	998
5月	27	179	587	766	0	118	118	884
6月	26	168	602	770	0	157	157	927
7月	26	166	392	558	0	10	10	568
8月	27	200	319	519	0	94	94	613
9月	25	267	534	801	17	66	83	884
10月	27	196	481	677	0	139	139	816
11月	26	187	678	865	0	149	149	1,014
12月	24	309	358	667	7	83	90	757
1月	24	163	316	479	0	98	98	577
2月	24	197	383	580	0	101	101	681
3月	26	154	289	443	0	119	119	562
H30 期間計	307	2,486	5,514	8,000	24	1,257	1,281	9,281
H29 期間計	309	2,100	7,949	10,049	369	2,859	3,228	13,277
増減	△2	386	△2,435	△2,049	△345	△1,602	△1,947	△3,996

(2) 貸館利用件数・利用率及び利用料収入

月	集会室			研修室			貸館利用料 収入 (単位：円)	
	件数 (単位：件)		*利用率 (%)	件数 (単位：件)		*利用率 (%)		
	有料	無料		有料	無料			
4月	15	19	68.0	0	13	26.0	22,000	
5月	11	22	61.1	0	11	20.3	24,000	
6月	10	22	61.5	0	14	26.9	18,800	
7月	10	16	50.0	0	10	19.2	24,000	
8月	11	10	38.8	0	9	16.6	28,000	
9月	11	22	66.0	2	11	26.0	17,600	
10月	12	24	66.7	0	13	24.1	32,800	
11月	11	24	67.3	0	14	26.9	12,000	
12月	9	15	50.0	1	8	18.8	14,000	
1月	9	10	39.6	0	10	20.8	28,000	
2月	13	16	60.4	0	14	29.2	18,800	
3月	9	22	59.6	0	14	26.9	28,800	
H30 期間計	131	222	57.5	3	141	23.5	268,800	
H29 期間計	96	200	47.9	43	176	35.4	236,800	
増減	35	22	9.6	△40	△35	△11.9	32,000	

*利用率算定については、実利用回数/利用可能回数×100で算定した。

※夜間貸出なし。貸館利用料収入は、翌月以降の利用料金を含む。

【事業進捗】

貸館利用者数は、集会室・研修室利用団体の活動拠点移動などが影響し利用人数に減少があるが、利用件数については集会室の利用件数は前年同期比で増加している。福祉会館周辺整備工事の完了に伴い来場者駐車場も整備されたことから、団体利用者にも周知し施設の利用増進に努めていく。また、貸館利用者の声を業務に活かし、笑顔の挨拶を心掛け「使い心地」「サービスの質の向上」に向け施設利用率の改善に取り組んで行く。

4 水道光熱及び燃料使用量

月	水道光熱使用量			燃料使用量 白灯油 (単位:L)	水道光熱費 (単位:円)	燃料費 (単位:円)
	電気 (単位:kwh)	上下水道 (単位:m³)	LPガス (単位:m³)			
4月	20,295	2,195	46.4	4,000	657,625	381,240
5月	17,595		43.5	2,000	350,789	193,321
6月	21,459	2,934	39.2	4,000	773,726	407,160
7月	22,582		43.5	6,000	452,228	621,000
8月	27,756	3,771	34.8	6,000	1,008,878	628,560
9月	25,397		39.1	6,000	524,732	636,120
10月	20,821	2,297	41.8	4,000	720,363	439,560
11月	20,059		48.1	3,500	417,512	399,060
12月	18,866	2,100	37.3	4,000	653,978	440,640
1月	22,277		45.6	4,000	466,952	429,840
2月	24,862	2,280	46.7	7,000	816,909	744,660
3月	20,482		41.3	4,000	454,328	425,520
H30 期間計	262,451	15,577	507.3	54,500	7,298,020	5,746,681
H29 期間計	256,643	11,847	513.6	56,000	6,629,132	5,136,481

○水道光熱費及び燃料費の各事業面積按分

水道光熱費・燃料費については、各サービス区分にて面積按分を行っている。

	サービス区分	面積 (m²)	割合
1	在宅福祉総合センター事業	1,625.50	65.8%
2	在宅福祉総合センター食堂事業	145.00	5.87%
3	指定通所介護事業	361.42	14.63%
4	指定認知症対応型通所介護事業	154.89	6.27%
5	指定居宅介護支援事業	25.20	1.02%
6	指定訪問介護事業	14.95	0.605%
7	居宅介護・重度訪問・同行援護事業	14.95	0.605%
8	地域活動支援センター事業	128.46	5.2%
	合 計	2,470.37	100%

【事業進捗】

原油価格高騰の影響により、水道光熱費及び燃料費が増加していることから、今後も経費節減による経営の安定に努めていく。

5 安全対策

(1) 在宅福祉総合センター入場者傷害保険

施設利用者を対象とした傷害保険に加入した。

1名あたりの担保内容、年間保険料

種 別	補 償 額	備 考
死亡・後遺障害	500万円	施設利用者を対象とする。
入院日額	3,000円	事故の日から180日を限度とする。
通院日額	2,000円	事故の日から180日の間のうち、90日の通院を限度とする。

(2) 防災訓練の実施

① 危険物安全週間における訓練

実施日：6月18日（月）

参加者：職員18名、利用者11名、実習生2名

内 容：避難経路確認・救急訓練・通報訓練、

館内消火器、消火栓配置確認訓練を実施。



② 地震防災訓練

実施日：8月26日（日）

8時15分から12時15分まで

参加者：職員12名（男性2名、女性10名）

訓練内容：地震想定（平日勤務中、突発的に地震が発生）

説明後、火元責任者による安全確認。発災時の避難誘導手順の確認及び避難経路の確認、被災状況確認の徹底。福祉

避難所設営訓練。パーテーション、簡易ベット設置訓練。

福祉避難所受入訓練。トイレ介助訓練。災害時備蓄品確認。



6 修繕等実施状況 (10万円以上)

(単位：円)

項目	金額	内容
3階集会室天井プロジェクタ設置工事	972,000	設備の充実を図るため天吊り型プロジェクタを設置
3階集会室音響設備更新工事	432,000	既設設備の老朽化のため更新
1階機械室給湯循環ポンプ取替工事	164,052	漏水のため交換
屋上吸式冷温水機1号機基板交換	463,320	運転停止による交換
1階事務室非常灯照明更新工事	164,160	LED 照明交換
看板改修工事	114,156	案内板改修

【事業進捗】

町の指定管理者として、在宅福祉総合センター機能を活かせるよう適切な施設管理とファシリティマネジメント計画による必要な設備更新等を行っている。また、町の防災計画において福祉避難所としての役割も担っているため、総合防災訓練の中で災害時における要配慮者の生活を支援するための拠点施設として、関係機関と連携して運営訓練を実施した。

1－2 在宅福祉総合センター食堂事業

1 事業目的

在宅福祉総合センター食堂事業は、一般食堂及びデイサービスの給食を提供している。また、地域福祉活動におけるボランティアの活動拠点としての役割があり、ひとり暮らし給食「仲良会」の食事づくりや地域住民の憩いの場としての役割も果たしている。

2 一般食堂食数内訳及び売上金収入

月	定食	カレー・麺類 他	惣菜	仲良会	調理員 昼食	相談員 検食	給食 ボランティア	合計 (単位:食)	売上金 (単位:円)	サービスチケット利用者延人数 (単位:枚)
4月	158	14	708	135	24	25	67	1,131	246,000	9
5月	181	14	724	135	27	27	60	1,168	347,960	10
6月	164	12	663	-	25	26	58	948	235,575	6
7月	195	18	537	123	26	26	69	994	316,225	5
8月	160	9	477	-	26	26	29	727	205,040	3
9月	190	11	624	100	24	25	53	1,027	344,005	7
10月	235	13	553	-	25	27	45	898	274,250	7
11月	229	20	707	106	23	25	64	1,174	337,560	14
12月	191	14	485	-	22	23	29	764	235,260	8
1月	184	12	668	117	24	24	53	1,082	287,020	12
2月	185	22	694	109	22	24	67	1,123	364,430	6
3月	242	10	676	-	23	26	32	1,009	227,500	13
H30	2,314	169	7,516	825	291	304	626	12,045	3,428,385	100
H29	2,339	254	7,395	875	292	302	683	12,140	3,490,350	60
増減	△25	△85	121	△50	△1	2	△57	△95	△61,965	40

3 デイサービス給食売上食数内訳及び売上金収入

月	通所介護事業 (単位:食)	認知症対応型 通所介護事業 (単位:食)	地域活動支援センター (単位:食)	合 計 (単位:食)	売上金 (単位:円)
4月	377	134	71	582	378,300
5月	377	136	78	591	384,150
6月	369	134	73	576	374,400
7月	362	143	76	581	377,650
8月	373	130	77	580	377,000
9月	346	132	60	538	349,700
10月	372	121	75	568	369,200
11月	357	143	74	574	373,100
12月	337	129	78	544	353,600
1月	315	129	67	511	332,150
2月	342	127	71	540	351,000
3月	387	144	75	606	393,900
H30	4,314	1,602	875	6,791	4,414,150
H29	4,839	2,041	758	7,638	4,964,700
増減	△525	△439	117	△847	△550,550

4 給食ボランティア参加状況

(単位：人)

月	団体	個人	合計
4月	40	27	67
5月	32	28	60
6月	16	42	58
7月	39	30	69
8月	13	16	29
9月	26	27	53
10月	22	23	45
11月	47	17	64
12月	10	19	29
1月	25	28	53
2月	41	26	67
3月	14	18	32
H30 期間計	325	301	626
H29 期間計	373	310	683
増減	△48	△9	△57

5 給食ボランティア登録者数

(単位：人)

年 度	団体登録者数	個人登録者数	合 計
H30	19	27	46
H29	22	30	52

給食ボランティア団体名

みちの会・木苺の会・愛護の会・なでしこの会・ホーム喫茶ボランティア

6 「食」による健康づくり活動

開催日	内 容	備 考
7月 3日	食育会議	食育協議会会長
7月 22日	男の料理教室	20名参加
9月 19日	元長窪健康教室	30名参加

管理栄養士が地域と連携・協働による健康づくり活動を実践している。また、いづみの郷食堂においても「男の料理教室」を開催し、様々な活動が出来る場を提供している。

7 実習生受け入れ

受入期間	実習依頼団体	内 容	人 数
8月27日～31日	日本大学短期大学	食物学科実習	5
11月5日～9日	小田原女子短期大学	食物学科実習	4

【事業進捗】

一般食堂収入は売上げが前年同期比で減少しているため、今後も一層、施設利用団体等への利用PRに努め、利用促進に繋げたい。また、デイサービス給食収入においても、利用者減による収入減となっている。今後、サービス提供方法や提供価格等の検討を図るとともに、関係部署との連携により食堂事業の充実によるサービスの向上を図り、利用者の増大に寄与していく。

